

2016 年 11 月分新聞書評



深海生物テヅルモヅルの謎を追え!～系統分類から進化を探る～(フィールドの生物学 20)

岡西 政典 著

東海大学出版部

クモヒトデの仲間であるテヅルモヅルを解説するわが国唯一の本。系統分類学などから世界中に分布した謎を紐解く。

2016:5./ 19p,299p

978-4-486-02096-7

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2016/11/05



荒汐部屋のモルとムギ

リトル・モア

東京・日本橋浜町にある相撲部屋・荒汐部屋で暮らしている猫のモルとムギ。親方の膝でのんびりする姿、力士に抱っこされる姿、力士たちの部屋でくつろぐ姿…。力士たちと仲よく一緒に暮らす 2 匹の猫の写真を収録。

2016:10./ 72p

978-4-89815-447-2

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/11/05



崑ちゃん～ボクの昭和青春譜～

大村 崑、小泉 カツミ 著

文藝春秋

江利チエミと高倉健、遊び仲間・藤田まこと、藤山寛美さんの楽屋テクニク、森光ちゃんと森繁久彌先生…。昭和の国民的スター・大村崑が語りつくす、抱腹絶倒の芸能秘話。秘蔵写真も収録。

2016:9./ 223p

978-4-16-390513-6

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/11/06



運命を切りひらくもの

北方 謙三、福島 智 著

致知出版社

出逢いこそ運命。魂がぶつかって生まれるもの-。「言葉」を自らの生きる糧として歩んできたベストセラー作家と全盲ろうの東大教授が語り合う。『致知』掲載の 3 回の対談と、2 度のバーでの歓談を収録。

2016:8./ 165p

978-4-8009-1121-6

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2016/11/06



ピアニストは語る(講談社現代新書 2389)

ヴァレリー・アフアナシエフ 著

講談社

モスクワでの幼年時代、音楽院での修業の日々、亡命、愛する作品と作曲家について、ピアノ演奏について-。カリスマピアニストが人生と音楽の哲学を語る。

2016:9./ 242p

978-4-06-288389-4

本体 ¥800+税



産経新聞 2016/11/06

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2016 年 12 月時点での税抜価格です。



くじらのくじらん

市川 宣子、村田 エミコ 著

リーブル

海の底にバナナが落ちていました。バナナをお月さまだと思ったくじらのくじらんは、バナナを背中にのせて、空へ噴きあげました。けれど、お日さまはしらん顔で…。全8話を収録。月刊誌『母の友』掲載をまとめる。

2016:8./ 87p

978-4-947581-86-0

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/11/06



森の人々

ハニヤ・ヤナギハラ、山田 美明 著

光文社

1950年、若き免疫学者ペリーナは、人類学者の調査に同行して南洋のイヴ・イヴ島へと向かう。驚くべき発見をした彼は科学者としての名声を手に入れるが、そのことが島や彼自身の人生に恐ろしい代償を強いることに…。

2016:9./ 549p

978-4-334-97885-3

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2016/11/06



喫茶とインテリア WEST〜喫茶店・洋食店 33 の物語〜

BMC、西岡 潔 著

大福書林

素材の使い方、家具のフォルム、調度品…。手間とコストを惜しまず、店主、設計者、職人が自由な発想で生み出した高度経済成長期の喫茶店や洋食店。開店時のインテリアとスピリットを今も保つ関西の33店を記録した写真集。

2016:10./ 199p

978-4-908465-03-1

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2016/11/06



「ひきこもり」経験の社会学

関水 徹平 著

左右社

「ひきこもり」経験者および「ひきこもり」経験者以外の人びと-とりわけ家族や行政-にとって、「ひきこもり」経験とはどのような経験なのか。ひきこもり研究の新たな担い手がひきこもり問題の社会的様相を浮かび上がらせる。

2016:10./ 371p,23p

978-4-86528-156-9

本体 ¥3,600+税



産経新聞 2016/11/06



東京湾諸島

加藤 庸二 著

駒草出版

物流島、発電基地、海上要塞、ごみ埋立地…。増殖する人工島群「東京湾諸島」。膨張する首都を支える島々の“知られざる内部”を解き明かす。全75島を掲載したMAPも収録。

2016:11./ 255p

978-4-905447-72-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/11/06



映画という《物体X》〜フィルム・アーカイブの眼で見た映画〜

岡田 秀則 著

リットーミュージック

フィルムの映画こそ未来に残すべき本物の「映画」。映画保存のエキスパートが、<物質>面から捉えた映画の新しい魅惑を綴ったエッセイ集。東京大学元総長・蓮實重彦との対談も収録。

2016:9./ 254p

978-4-8456-2863-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/11/06、日本経済新聞 2016/11/20



障害のある人の創作活動～実践の現場から～

服部 正 著

あいり出版

各地で障害のある人の創作活動を展開している実践者のリアルな声をもとに、その現状を概観し、課題を確認、未来への可能性を探る。収入に結びつけるための取り組みについても論じる。

2016:8./ 3p,175p

978-4-86555-031-3

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2016/11/12



飛田をめざす者～「爆買い」襲来と一〇〇年の計～

杉坂 圭介 著

徳間書店

NHK のカメラに撮影され、欲望の観光客が世界中からやってくる、営業許可 100 年を迎えた色街-。「爆買い」目的の中国人観光客、通報されるスカウトマンなど、元遊郭経営者が飛田新地の「リアル」を記す。

2016:7./ 249p

978-4-19-864199-3

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/11/13



シーナの夢～若松,博多,東京,HAPPY HOUSE～

西日本新聞社

2015 年 2 月 14 日にこの世を去ったロックバンド「シーナ&ロケッツ」のボーカル・シーナ。夫であるギタリスト・鮎川誠が、四十九日に旧友だけに語った家族の物語。CROSS FM の番組のロングインタビューを書籍化。

2016:8./ 221p

978-4-8167-0923-4

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/11/13



文庫本宝船

坪内 祐三 著

本の雑誌社

山口昌男、西村賢太、サリンジャー、菊地成孔、マルクス、石井輝男、古今亭志ん朝...登場冊数 300 超。ジャンルを横断し、読みどころを鋭く解き明かす、全方位的文庫本ガイド。『週刊文春』連載を単行本化。

2016:8./ 716p

978-4-86011-290-5

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2016/11/13



これはすいへいせん

谷川 俊太郎 著

金の星社

これは水平線の向こうから流れてきた家。これは水平線の向こうから流れてきた家で昼寝していたおじいさんのガブリエル...。言葉がつながる、谷川俊太郎×tupera tupera のコラボ絵本。インデックスしかけ付き。

2016:9./ 32p

978-4-323-07366-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/11/13



住友銀行秘史

國重 惇史 著

講談社

保身に走る上司とぶつかり、裏社会の勢力と闘ったのは、銀行を愛してやまないひとりのバンカーだった-。戦後最大の経済事件「イトマン事件」の内部告発を行った元住友銀行取締役が、すべてを綴った手記を公開する。

2016:10./ 469p

978-4-06-220130-8

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/11/13



世界の廃墟図鑑～産業・科学・文化遺産～(フォトミュージアム)

キーロン・コノリー、岡本 千晶 著

原書房

チェルノブイリの立入禁止区域から、崩れかけた劇場、冷戦時代の地下核シェルターにいたるまで、150 点あまりの印象的な写真を通じ、その不気味にさびついた場所で、いったい何があったのか、放置されたいきさつを解説する。

2016:10./ 220p

978-4-562-05352-0

本体 ¥5,000+税



産経新聞 2016/11/13



ザ、コラム～2006-2014～

小田嶋 隆 著

晶文社

ネトウヨもスキャンダルもエロも縦横無尽! 気になる出来事にツッコミを入れ続ける小田嶋隆が、凡そ 10 年間に手がけたコラムの中から選りすぐった超偏愛的ブライテストコラム集。『週刊ビジネスニュース』連載等を書籍化。

2016:10./ 326p

978-4-7949-6938-5

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/11/13



徹底調査子供の貧困が日本を減ぼす～社会的損失 40 兆円の衝撃～(文春新書 1092)

日本財団子どもの貧困対策チーム 著

文藝春秋

6 人に 1 人いるとされる「子供の貧困」を放置すると、年間約 40 兆円の社会的損失が生まれる。日本の最重要課題を、データ分析、当事者インタビュー、学術研究の紹介から国内外の先進的な取組みまで、包括的に論じる。

2016:9./ 227p

978-4-16-661092-1

本体 ¥780+税



産経新聞 2016/11/13、朝日新聞 2016/11/20



生きぬく智慧を『論語』の名言から学ぶ

高畑 常信 著

木耳社

日常生活の中で「論語」を学ぶことこそが現代を生きぬく力となるであろう。「多く聞き、多く見る」「義を見て為さざるは勇なきなり」「過ぎたるは及ばざるがごとし」など、「論語」の名言を紹介する。

2016:5./ 145p

978-4-8393-1197-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/11/20



メビウス 1974

堂場 瞬一 著

河出書房新社

長嶋引退試合と三井物産爆破事件が起きた 1974 年 10 月 14 日を始点に運命を引き裂かれた人々の「明」と「暗」を描くミステリ!

2016:10./ 388p

978-4-309-02504-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/11/20



酒鬼薔薇聖斗と関東連合～『絶歌』をサイコパスと性的サディズムから読み解く～

柴田 大輔 著

サイゾー

「元少年 A」が初めて明かした将来の夢・目標とは? 元関東連合幹部・工藤明男こと柴田大輔が、少年院でのトラウマや関東連合での活動と重ねながら、「絶歌」に潜む暴力性や死生観を解説する。

2016:10./ 347p

978-4-86625-069-4

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/11/20



かぜ

イブ・スパング・オルセン、ひだに れいこ 著

亜紀書房

お姉ちゃんのマチルデと弟のマーチンは、風をおいかけて野原をずんずんかけていきます。ふたりがおしゃべりすると、風もピューピューうたいだし、すてきな世界があらわれます。オルセンの名作の新訳。

産経新聞 2016/11/20

2016:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-7505-1487-1

本体 ¥1,300+税



北の喜怒哀楽～45年間を北朝鮮で暮らして～

木下 公勝 著

高木書房

炭鉱で死んだ親戚、日本人妻の悲劇、ソ連への密航、そして日常のささやかな喜びと恋愛…。1960年代初め、一家6人で北朝鮮に渡り、そこで45年間暮らした著者が、北朝鮮での生活の実態をありのままに伝える。

産経新聞 2016/11/20

2016:11./ 285p

978-4-88471-446-8

本体 ¥1,400+税



驚きの地方創生「京都・あやべスタイル」～上場企業と「半農半X」が共存する魅力～(扶桑社新書 223)

蒲田 正樹 著

扶桑社

総務省の地方創生モデルとして内外から注目されている京都府綾部市。国の施策の半歩先をいく取り組み、街に根づくグンゼから学ぶ人づくりの大切さ、新しいライフスタイル「半農半X」など、綾部市の成功の鍵を徹底解説する。

産経新聞 2016/11/20、日本経済新聞 2016/11/20

2016:11./ 223p

978-4-594-07583-5

本体 ¥800+税



紙の城

本城 雅人 著

講談社

東洋新聞はIT企業からの買収宣告を受けた。そのIT企業の会長を裏で操る権藤は、かつて東洋新聞にいた記者だった。パソコン音痴の社会部デスクの安芸たちは徹底抗戦を決意し…。記者魂を懸けた最後の攻防戦がいま始まる!

産経新聞 2016/11/26

2016:10./ 318p

978-4-06-220330-2

本体 ¥1,600+税



「できる人」が会社を減ぼす

柴田 昌治 著

PHP研究所

「できる人(＝一見優秀、でも実際は仕事をさぼくのがうまいだけの人)」が、「真のできる人」になって自分と会社を元気にする方法を指南。

産経新聞 2016/11/26

2016:10./ 223p

978-4-569-83188-6

本体 ¥1,400+税



杜甫全詩訳注<1>(講談社学術文庫 2333)

杜甫 著

講談社

中国盛唐期を生きた「詩聖」杜甫。原詩及び書き下し文に、新しい研究成果をふまえた正確で平明な訳文と語釈などを添えた杜甫全詩訳注。1は、杜甫の青年期から安史の乱にかけての作品を収録する。

産経新聞 2016/11/27

2016:6./ 905p

978-4-06-292333-0

本体 ¥2,300+税





杜甫全詩訳注<2>(講談社学術文庫 2334)

下定 雅弘、松原 朗 編

杜 甫 著

講談社

中国盛唐期を生きた「詩聖」杜甫。原詩及び書き下し文に、新しい研究成果をふまえた正確で平明な訳文と語釈などを添えた杜甫全詩訳注。2 は、長安を去り、成都の草堂で安らかな生活を手にする時期の作品を収録する。

2016:7./ 927p

978-4-06-292334-7

本体 ¥2,300+税



産経新聞 2016/11/27



杜甫全詩訳注<3>(講談社学術文庫 2335)

下定 雅弘、松原 朗 編

杜 甫 著

講談社

中国盛唐期を生きた「詩聖」杜甫。原詩及び書き下し文に、新しい研究成果をふまえた正確で平明な訳文と語釈などを添えた杜甫全詩訳注。3 は、蜀中の後期から病身を養う時期の作品を収録する。

2016:9./ 657p

978-4-06-292335-4

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2016/11/27



鉄道ミステリーの系譜〜シャーロック・ホームズから十津川警部まで〜(交通新聞社新書 102)

原口 隆行 著

交通新聞社

推理小説と鉄道双方の歴史と相関関係を踏まえて、鉄道を舞台にした作品、鉄道を主題にした作品などを「鉄道ミステリー」とし、国内外の作品を時代を追って紹介する。

2016:10./ 263p

978-4-330-69816-8

本体 ¥800+税



産経新聞 2016/11/27



杜甫全詩訳注<4>(講談社学術文庫 2336)

杜 甫 著

講談社

中国盛唐期を生きた「詩聖」杜甫。原詩及び書き下し文に、新しい研究成果をふまえた正確で平明な訳文と語釈などを添えた杜甫全詩訳注。4 は、晩年の作品を収録し、全詩題索引、年譜を掲載。完結。

2016:10./ 1,111p

978-4-06-292336-1

本体 ¥2,900+税



産経新聞 2016/11/27



虎狼(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1913)

モー・ヘイダー 著

早川書房

村から離れた邸宅に二人の男が侵入し、両親とその娘を拘禁。自由を奪った三人を、男たちはじわじわといたぶる。はたしてその真の目的とは？「サスペンスの女王」が放つ緊迫感あふれる最新作

2016:11./ 460p

978-4-15-001913-6

本体 ¥2,300+税



産経新聞 2016/11/27



わたし、お月さま

青山 七恵 著

NHK出版

ひとりぼっちで寂しがり屋のお月さまは、むかし自分を訪ねてきた宇宙飛行士さんに会うため、地球へ行きました。あこがれの人を探し続けていると…。芥川賞作家と世界を舞台に活躍する絵本作家が織りなすファンタジーの世界。

2016:11./ 32p

978-4-14-036125-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/11/27



タンパク質の一生～生命活動の舞台裏～(岩波新書 新赤版 1139)

永田 和宏 著

岩波書店

タンパク質は、細胞という極小宇宙で繰り返される生命活動の主演。遺伝病やプリオン病など、タンパク質の異常が引き起こす病気の問題も含め、波乱に富んだタンパク質の一生を、最先端の科学の現場からレポートする。

2008:6./ 218p

978-4-00-431139-3

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/11/06



いじめの直し方

内藤 朝雄、荻上 チキ 著

朝日新聞出版

いじめが起こる“仕組み”を知って、それに対処する知恵を身につければ、元気も勇気もいらなし、きみが変わる必要もない。いじめ研究の第一人者が贈る画期的な書。書き込み式「記録シート」付き。

2010:3./ 95p

978-4-02-250708-2

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/11/06



安岡章太郎随筆集<2>

安岡章太郎 著

岩波書店

0

1991:7./ 370p

978-4-00-091662-2

本体 ¥4,175+税



朝日新聞 2016/11/06



細胞が自分を食べるオートファジーの謎(PHP サイエンス・ワールド新書 051)

水島 昇 著

PHP研究所

オートファジーは、細胞の中を掃除し、中身を新しく入れ替えるリサイクルの働きをしていた。発生と分化、成長と老化、病気や免疫に深く関わる生命現象の秘密に迫る。

2011:11./ 215p

978-4-569-80071-4

本体 ¥800+税



朝日新聞 2016/11/06



ある日、私は友達をクビになった～スマホ世代のいじめ事情～

エミリー・バゼロン、高橋 由紀子 著

早川書房

インターネットにより複雑化したいじめ問題。気鋭のジャーナリストが、ティーンエイジャー3人の事例を徹底検証するほか、フェイスブック本社を取材し「ネットいじめ」の問題について探る。

2014:8./ 324p

978-4-15-209475-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/11/06



昭和天皇実録<第 7> 自昭和十一年至昭和十四年

宮内庁 編
東京書籍

昭和天皇の誕生より崩御に至るまでの記録「昭和天皇実録」の原本全六十一巻を十八冊にまとめ、新たに索引一冊を作成して附録として公刊。第 7 は、巻二十三(昭和十一年)?巻二十六(昭和十四年)を収録。

2016:3.
978-4-487-74407-7
本体 ¥1,890+税



朝日新聞 2016/11/06



細胞の中の分子生物学～最新・生命科学入門～(ブルーバックス B-1944)

森 和俊 著
講談社

糖尿病、アルツハイマー、がんなど、さまざまな病気に関与する「小胞体ストレス応答」。その仕組みを解明した世界的研究者が、細胞内の生命を紡ぐメカニズムをやさしく解き明かす。京大名物講義をもとにした生命科学入門。

2016:5./ 244p
978-4-06-257944-5
本体 ¥900+税



朝日新聞 2016/11/06



九十歳。何がめでたい

佐藤 愛子 著
小学館

人間は「のんびりしよう」なんて考えてはダメだということが、九十歳を過ぎてよくわかりました。御年九十二歳、もはや満身創痍の佐藤愛子が、ヘトヘトでしぼり出した怒りの書。『女性セブン』連載を書籍化。

2016:8./ 223p
978-4-09-396537-8
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/11/06



素手のふるまい～アートがさぐる<未知の社会性>～

鷺田 清一 著
朝日新聞出版

被災地支援にとりくむ藝大生、東北の地域社会に入って制作する写真家…。現代社会の隙間で、生存の技法としてのアートと錯綜する社会との関係を読みほどこ、臨床哲学者の刺激的な考察。『小説トリッパー』連載に加筆・再構成。

2016:7./ 253p
978-4-02-251392-2
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/11/06



昭和天皇実録<第 8> 自昭和十五年至昭和十七年

宮内庁 編
東京書籍

昭和天皇の誕生より崩御に至るまでの記録「昭和天皇実録」の原本全六十一巻を十八冊にまとめ、新たに索引一冊を作成して附録として公刊。第 8 は、巻二十七(昭和十五年)?巻三十(昭和十七年)を収録。

2016:9.
978-4-487-74408-4
本体 ¥1,890+税



朝日新聞 2016/11/06



昭和天皇実録<第 9> 自昭和十八年至昭和二十年

宮内庁 編
東京書籍

昭和天皇の誕生より崩御に至るまでの記録「昭和天皇実録」の原本全六十一巻を十八冊にまとめ、新たに索引一冊を作成して附録として公刊。第 9 は、巻三十一(昭和十八年)?巻三十四(昭和二十年)を収録。

2016:9.
978-4-487-74409-1
本体 ¥1,890+税



朝日新聞 2016/11/06



丸刈りにされた女たち～「ドイツ兵の恋人」の戦後を辿る旅～(岩波現代全書 093)

藤森 晶子 著

岩波書店

第二次大戦中に「支配者」であるドイツ兵と愛し合い、解放後に見せしめとして丸刈りにされたフランス人女性たち。彼女たちをたずねて 2004 年にフランスに渡った著者が、その困難に満ちた戦後の人生を綴った記録。

2016:8./ 12p,190p

978-4-00-029193-4

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 9 1 9 3 4 *

朝日新聞 2016/11/06



ルポ保健室～子どもの貧困・虐待・性のリアル～(朝日新書 576)

秋山 千佳 著

朝日新聞出版

虐待の家で育った少女が、笑顔を取り戻した。貧困、虐待、スクールカースト、ドラッグ、性。子どもたちが抱える問題の最先端が現れる「保健室」と、そこで彼らを支えて奮闘する「養護教諭」の活動に密着したルポルタージュ。

2016:8./ 255p

978-4-02-273676-5

本体 ¥780+税



* 9 7 8 4 0 2 2 7 3 6 7 6 5 *

朝日新聞 2016/11/06



韓国政治思想史

朴 忠錫、飯田 泰三、井上 厚史、石田 徹 著

法政大学出版局

古朝鮮による「巫」の思想、すなわち古代人が宇宙・自然・社会・人間に対して持っていた原イメージは、韓国人の政治的実践を如何に規定してきたのか。韓国の基層文化を神話世界より説き起こす、韓国政治思想の通史。

2016:10./ 8p,652p,40p

978-4-588-62532-9

本体 ¥9,800+税



* 9 7 8 4 5 8 8 6 2 5 3 2 9 *

朝日新聞 2016/11/06



少年聖女

鹿島田 真希 著

河出書房新社

ゲイバー「Aqua」で、僕が愛した青年が語る、ひとりの聖女と彼女に溺れゆく男たちの物語ー「背徳的な愛」を峻烈に描く衝撃作!

2016:8./ 242p

978-4-309-02500-1

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 5 0 0 1 *

朝日新聞 2016/11/06



戦国と宗教(岩波新書 新赤版 1619)

神田 千里 著

岩波書店

乱世の英雄たちが入り乱れ、激しい戦争を繰り広げていた戦国時代。人々は心の安寧をどこに求めたか。大名たちの戦勝祈願、庶民たちの本願寺信仰、キリスト教など当時の信仰の諸相を、「天道」という観念に注目しつつ読み解く。

2016:9./ 9p,200p,6p

978-4-00-431619-0

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 6 1 9 0 *

朝日新聞 2016/11/06



爆発的進化論～1%の奇跡がヒトを作った～(新潮新書 685)

更科 功 著

新潮社

眼の誕生、骨の発明、あごの獲得、脳の巨大化……生物誕生から約 40 億年、進化史上の「大事件」を辿れば、ヒト誕生の謎が見えてくる!これまでの常識を覆す最新生物学講座。

2016:9./ 203p

978-4-10-610685-9

本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 6 8 5 9 *

朝日新聞 2016/11/06



<仏教 3.0>を哲学する

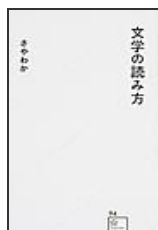
藤田 一照、永井 均、山下 良道 著
春秋社

既存の仏教を包み超える、新たな<仏教 3.0>とは? 新時代を切り開く力となり得るか? 曹洞宗僧侶・藤田一照、哲学者・永井均、ワンドルマ仏教僧・山下良道が熱く語り合う。2014?16年の公開講座をもとに書籍化。

2016:9./ 13p,287p
978-4-393-13592-1
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/11/06



文学の読み方(星海社新書 94)

さやわか 著
星海社

文学は、「現実」も「人の心」も描けない。すべては“錯覚”にすぎない。それらの錯覚がどのように生まれたのか、各時代の史料から確認しつつ、日本近代文学史を記述する。

2016:9./ 249p
978-4-06-138600-6
本体 ¥880+税



朝日新聞 2016/11/06



ミクロストリアと世界史～歴史家の仕事について～

カルロ・ギンズブルグ 著
みすず書房

数々のミクロストリアと事例研究により、世界の歴史学を牽引してきたイタリアの歴史学者の最新研究成果 7 編を収録。さまざまな観点から「歴史とは何か」を考える書。

2016:9./ 3p,288p
978-4-622-08545-4
本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2016/11/06



最終戦争/空族館(アエリウム)(ちくま文庫 き 40-1)

日下 三蔵 編
今日泊 亜蘭 著
筑摩書房

日本 SF の胎動期から参加し「長老」と呼ばれた作家の、未発表作「空族館」や単行本未収録作 10 作を収録したオリジナルアンソロジー。解説 峯島正行

2016:10./ 457p
978-4-480-43393-0
本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2016/11/06



熊と踊れ<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM439-1)

アンデシュ・ルースランド、ステファン・トゥンベリ 著
早川書房

軍倉庫から銃を盗み出した青年レオは、弟たちとともに、恐るべき連続銀行襲撃を計画する。果たして彼らを待ち受けるものとは.....

2016:9./ 561p
978-4-15-182151-6
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/11/06



熊と踊れ<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM439-2)

アンデシュ・ルースランド、ステファン・トゥンベリ 著
早川書房

緻密かつ大胆な犯行で警察を翻弄し、次々と銀行を襲うレオたち。その暴力の扱い方は少年時代に父から学んだものだった。かつて彼らに何がおこったのか。そして今、父は何を思うのか。実際の事件をモデルにした北欧ミステリ。

2016:9./ 570p
978-4-15-182152-3
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/11/06



洗礼ダイアリー

文月 悠光 著

ポプラ社

<生きづらさ>を言葉で解き放つ。現代詩人の登竜門「中原中也賞」を 18 歳で受賞した平成生まれの詩人・文月悠光が、日々思うことや経験したことなどを綴る。『WEB asta*』連載を加筆修正し、単行本化。

朝日新聞 2016/11/06

2016:9./ 205p

978-4-591-15147-1

本体 ¥1,400+税



クモの糸でバイオリン(岩波科学ライブラリー 254)

大崎 茂芳 著

岩波書店

「クモの糸にぶら下がる」など数多の挑戦を経て、クモの糸でバイオリンの弦をつくることに。暗中模索、数年がかりで完成した弦が、世界的な反響を巻き起こす。たゆまぬ好奇心が生んだ成功物語のすべてをレポートする。

朝日新聞 2016/11/06

2016:10./ 7p,114p,2p

978-4-00-029654-0

本体 ¥1,200+税



シャーロック・ホームズたちの冒険(創元推理文庫 M た 6-4)

田中 啓文 著

東京創元社

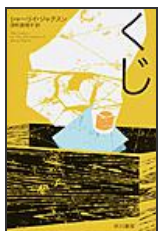
シャーロック・ホームズ&アルセーヌ・ルパンの新たなる冒険譚。あのヒトラーがじつは大変なシャーロキアンで…。著名人の名推理に酔いしれる、本格ミステリ連作短編集。

朝日新聞 2016/11/06

2016:10./ 401p

978-4-488-47504-8

本体 ¥900+税



くじ(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 442-1)

シャーリー・ジャクスン 著

早川書房

読後に壮絶な余韻を残す表題作をはじめ、著者の傑作群を収録した短篇集がついに文庫化

朝日新聞 2016/11/06

2016:10./ 423p

978-4-15-182301-5

本体 ¥1,000+税



モディリアーニにお願い<1>(ビッグコミックス)

相澤 いくえ 著

小学館

全部手描きの、心揺さぶられる美大物語。壁画の千葉と、日本画の本吉と、洋画の藤本は、同学年の気の合う仲間。冬の寒さも、制作の厳しさも、学生の楽しさも、将来への不安も分かち合いながら、共に過ごしている。真剣に創作をしながら。

朝日新聞 2016/11/06

2016:10./ 200p

978-4-09-187894-6

本体 ¥552+税



最後の秘境東京藝大～天才たちのカオスな日常～

二宮 敦人 著

新潮社

入試倍率は東大の 3 倍! 卒業後は行方不明者多数? 藝大生を妻に持つ著者が、謎に満ちた「東京藝大」に潜入した探検記。全 14 学科を擁するカオスなワンダーランドを紹介する。

朝日新聞 2016/11/06、読売新聞 2016/11/27

2016:9./ 286p

978-4-10-350291-3

本体 ¥1,400+税





誰が音楽をタダにした?～巨大産業をぶっ潰した男たち～

スティーヴン・ウィット、関 美和 著

早川書房

田舎の工場で発売前のCDを盗んでいた労働者、mp3を発明したオタク技術者、業界を牛耳る大手レーベルのCEO。彼らのたどる道が奇妙に交錯し、音楽産業が根底から覆された過程を描き出す。

2016:9./ 365p

978-4-15-209638-8

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2016/11/06、日本経済新聞 2016/11/06、読売新聞 2016/11/27



天に遊ぶ(新潮文庫)

吉村 昭 著

新潮社

日常生活の劇的な一瞬を切り取ることで、言葉には出来ない微妙な人間心理を浮き彫りにする、まさに名人芸の掌編小説 21 編。

2003:4./ 236p

978-4-10-111745-4

本体 ¥490+税



朝日新聞 2016/11/13



69(文春文庫)

村上 龍 著

文芸春秋

楽しんで生きないのは、罪なことだ。ビートルズやストーンズが流れる 1969 年。高校をバリケード封鎖した、17 歳の僕らの物語。

2007:8./ 246p

978-4-16-719007-1

本体 ¥510+税



朝日新聞 2016/11/13



ガラスの仮面<第 44 巻> ふたりの阿古夜(花とゆめ COMICS)

美内 すずえ 著

白泉社

「紅天女」の試演に向け、稽古に励むマヤと亜弓。ある日突如稽古場に姿を現した月影千草を前に、二人はそれぞれの紅天女を演じる。終了後、月影から二人へと差し出されたのはコップ一杯の水。それが意図するものは果たして—!?

2009:8./ 1 冊 (ページ付なし)

978-4-592-17004-4

本体 ¥400+税



朝日新聞 2016/11/13



横綱

武田 葉月 著

講談社

新横綱・日馬富士まで、横綱経験者 23 人が語る、その半生と横綱への道のり。そして頂点を極めたもののみが知る、相撲の神髄とは。

2013:4./ 365p

978-4-06-218132-7

本体 ¥1,619+税



朝日新聞 2016/11/13



大相撲の見かた(平凡社新書 684)

桑森 真介 著

平凡社

おっつけ、かち上げ、巻き返しなど、おさえておきたい相撲用語をイラストとともに紹介するほか、攻め方の定石、力士ごとの攻めと防御のタイプといった取り組みの見どころを解説する。「昭和・平成の名勝負」も掲載。

2013:5./ 175p

978-4-582-85684-2

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/11/13



音楽家村井邦彦の時代～アルファの伝説～

松木 直也 著

河出書房新社

ユーミン、赤い鳥、ガロ、YMO……昭和の音楽シーンを塗り替え、新しい歌を生み出した村井邦彦とアルファ。熱い歌作りの記録と記憶。

朝日新聞 2016/11/13

2016:8./ 357p

978-4-309-92066-5

本体 ¥2,500+税



力士の世界(角川ソフィア文庫 I130-1)

木村 庄之助 著

KADOKAWA

歴史やしきたり、伝統に裏づけられた作法、力士たちの稽古の様子や一日の過ごし方など、謎と不思議に満ちた相撲の基礎知識を網羅。江戸時代以来の文化がそのまま残る「国技の世界」を元・立行司が案内。

朝日新聞 2016/11/13

2015:11./ 187p

978-4-04-409493-5

本体 ¥840+税



呼出秀男の相撲ばなし

山木 秀男 著

現代書館

普通に相撲観戦していると気づかない「呼出」「行司」「床山」など裏方の仕事から、力士と親方、部屋の話など幅広く語る。呼出を長年務めたからこそ知る笑い話もあり、取組を見るだけではない相撲の深い楽しみ方がわかる。

朝日新聞 2016/11/13

2016:1./ 158p

978-4-7684-5780-1

本体 ¥1,200+税



たたき上げ～若の里自伝～

西岩 忍 著

大空出版

相撲との出会い、稽古漬けの青春、大関取りへの道、引退の花道…。現在は田子ノ浦部屋の部屋付き親方として後進の指導に当たっている元関脇・若の里が、相撲にすべてを捧げた23年半をつづる。全星取表も掲載。

朝日新聞 2016/11/13

2016:5./ 223p

978-4-903175-65-2

本体 ¥1,200+税



デスメタルインドネシア～世界 2 位のブルータルデスメタル大国～(世界過激音楽 Vol2)

小笠原 和生 著

パブリブ

全メタルバンド数に占めるブルータルデスメタルバンドの割合が世界一のインドネシア。デスメタルの歴史を作り上げたバンドと、現在のシーンの核となるバンドを取り上げ、アルバムや発言などを紹介する。

朝日新聞 2016/11/13

2016:7./ 351p

978-4-908468-03-2

本体 ¥2,300+税



大人に贈る子どもの文学

猪熊 葉子 著

岩波書店

児童文学研究者となり、英語圏の優れた作品や評論の翻訳に情熱を注いできた著者が、子どもに向かって書く作家達の真髓にせまり、幸福を描く多様な物語の世界へと読者を誘う。

朝日新聞 2016/11/13

2016:8./ 8p,286p

978-4-00-061147-3

本体 ¥2,100+税





大本営発表～改竄・隠蔽・捏造の太平洋戦争～(幻冬舎新書 つ-3-3)

辻田 真佐憲 著

幻冬舎

日本軍の最高司令部「大本営」。その公式発表では、戦果は誇張、損害は隠蔽、絶望的な敗北は闇へ葬り去られた。主に太平洋戦争の歴史をたどりながら、大本営発表の破綻の原因を明らかにする。

2016:7./ 281p

978-4-344-98425-7

本体 ¥860+税



朝日新聞 2016/11/13



砂の果実～80年代歌謡曲黄金時代疾走の日々～

売野 雅勇 著

朝日新聞出版

フリーのコピーライターだったぼくは、一度も歌詞なんて書いたことがなかった-。「少女A」「涙のリクエスト」「2億4千万の瞳」など、数々のヒット曲を書いた作詞家が綴る名作誕生秘話と、輝ける時代の物語。

2016:9./ 244p,3p

978-4-02-251407-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/11/13



児童文学論(岩波現代文庫 B(文芸) 282)

リリアン・H.スミス 著

岩波書店

よい本と出会うことが子どもにとっていかに大切か、よい本を選び出す基準とはどのようなものか。子どもの多様なジャンルの特質に即して、よい本の評価基準を詳しく解き明かす、児童文学研究のバイブル。

2016:10./ 8p,464p,9p

978-4-00-602282-2

本体 ¥1,340+税



朝日新聞 2016/11/13



反オカルト論(光文社新書 843)

高橋 昌一郎 著

光文社

占いや六曜といった迷信から靈感商法、江戸しぐさ、STAP 研究不正問題まで、多様な姿でオカルトは生き続ける。その「畏」に陥らないための科学的思考法をわかりやすい対話形式で解説する。『週刊新潮』連載をもとに再構成。

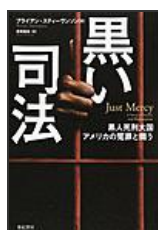
2016:9./ 308p

978-4-334-03946-2

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/11/13



黒い司法～黒人死刑大国アメリカの冤罪と闘う～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 2-9)

ブライアン・スティーヴンソン 著

亜紀書房

白人の人妻と関係を持った黒人-。それだけで犯してもいない殺人の罪を着せられ、死刑を宣告されたウォルターを弁護士は救えるのか。仕組まれた証言、大半が白人の陪審員...。米国司法の闇に迫る法廷ノンフィクション。

2016:9./ 421p,17p

978-4-7505-1439-0

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2016/11/13



東京田園モダン～大正・昭和の郊外を歩く～

三浦 展 著

洋泉社

北区、葛飾区、練馬区...。主として大正から昭和にかけての東京郊外の歴史を、郷土資料館の展示図録や調査資料を軸にしなが、実際にそれらの地域を歩くことで概観する。『東京人』ほか掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2016:9./ 251p,4p

978-4-8003-1025-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/11/13



分かれ道ノストラダムス

深緑 野分 著
双葉社

ノストラダムスの大予言。1999 年 7 月、世界はもうすぐ滅亡する、らしい。人間の心を支配しようとする闇の存在。立ち向かってゆく 15 歳、その「選択」。鮮烈な青春ミステリー。『小説推理』連載を加筆・訂正。

2016:9./ 333p
978-4-575-23986-7
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/11/13



不平等をめぐる戦争～グローバル税制は可能か?～(集英社新書 0852)

上村 雄彦 著
集英社

租税を回避する巨額の富に対していかにして課税できるか?グローバル税制の考え方と仕組みを示したのが本書である。環境問題から貧困問題まで。これらを一挙解決できるだけの財源はどこにある!

2016:10./ 221p
978-4-08-720852-8
本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/11/13



写楽～江戸人としての実像～(中公文庫 な 67-1)

中野 三敏 著
中央公論新社

江戸文化のなかで浮世絵が占める位置を再考した上で、残された数少ない手がかりを丁寧に考証し、写楽が阿波藩士斎藤十郎兵衛であることを解き明かす。それを通じて、歴史・文献研究の最善の方法論をも示す。

2016:9./ 257p
978-4-12-206294-8
本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/11/13



さあ、気ちがいになりなさい(ハヤカワ文庫 SF 2097)

フレドリック・ブラウン 著
早川書房

地球を襲う怪事象、悪魔と坊やの激闘、謎の惑星に潜む罠など 12 篇の奇想が大集合。

2016:10./ 370p
978-4-15-012097-9
本体 ¥920+税



朝日新聞 2016/11/13



塹壕の戦争～1914-1918～

タルディ、藤原 貞朗 著
共和国/editorial republica

世界中に破壊と殺戮を蔓延させ、1000 万人もの戦死者を出した第一次世界大戦。前線に掘られた暗い塹壕でたたかう兵士のひとりひとりを主人公に、そのリアルを徹底的に描き出した、フランスの巨匠タルディの代表作。

2016:11./ 185p
978-4-907986-12-4
本体 ¥3,300+税



朝日新聞 2016/11/13



蜜蜂と遠雷

恩田 陸 著
幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。『星星峡』『ポンツーン』連載を単行本化。

2016:9./ 507p
978-4-344-03003-9
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/11/13、読売新聞 2016/11/13、朝日新聞 2016/11/20、日本経済新聞 2016/11/27



仕掛学～人を動かすアイデアのつくり方～

松村 真宏 著

東洋経済新報社

人の行動を変えるトリガー、仕掛けを因数分解し、体系化。失敗学、渋滞学に続く面白学問「仕掛学」を知ってもらうための実用的入門書。

2016:9./ 173p

978-4-492-23373-3

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 4 9 2 2 3 3 7 3 3 *

朝日新聞 2016/11/13、日本経済新聞 2016/11/13



読んでいない本について堂々と語る方法(ちくま学芸文庫 ハ46-1)

ピエール・バイヤール 著

筑摩書房

本は読んでなくてもコメントできる!フランス論壇の鬼才が心構えからテクニックまで、徹底伝授した世界的ベストセラー。現代必携の一冊!

2016:10./ 300p

978-4-480-09757-6

本体 ¥950+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 9 7 5 7 6 *

朝日新聞 2016/11/13、日本経済新聞 2016/11/20



落語に学ぶ大人の極意(平凡社新書 826)

稲田 和浩 著

平凡社

友情から男女関係、ご近所付き合い、会社、お金のことまで。身近な落語の噺をもとに、大人のための粋な交際術を指南する。

2016:10./ 255p

978-4-582-85826-6

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 5 8 2 8 5 8 2 6 6 *

朝日新聞 2016/11/13、日本経済新聞 2016/11/27



ヒトラーと物理学者たち～科学が国家に仕えるとき～

フィリップ・ボール、池内 了、小畑 史哉 著

岩波書店

権力や名声には無関係と思える科学者たちが、ナチス政権に奉仕することになっていったのはなぜか。プランク、ハイゼンベルク、デバイという3人の著名なノーベル賞学者を中心に、人間の弱さ・したたかさを問う。

2016:9./ 11p,401p,12p

978-4-00-005887-2

本体 ¥3,700+税



* 9 7 8 4 0 0 0 0 5 8 8 7 2 *

朝日新聞 2016/11/13、毎日新聞 2016/11/13



ユーロから始まる世界経済の大崩壊～格差と混乱を生み出す通貨システムの破綻とその衝撃～

ジョセフ・E.スティグリッツ 著

徳間書店

経済統合という美名のもと、世界経済を歪めてきた単一通貨制度は、確実に終焉する。そのとき国際金融に何が起こるのか。ノーベル賞経済学者が、ユーロシステムの致命的欠陥を喝破し、歪んだ通貨制度の末路と改革への道を示す。

2016:9./ 458p

978-4-19-864253-2

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 1 9 8 6 4 2 5 3 2 *

朝日新聞 2016/11/13、毎日新聞 2016/11/27



ボブ・ディラン自伝

ボブ・ディラン、菅野 ヘッケル 著

ソフトバンクパブリッシング

60年代に初めて自分の曲を著作権登録した時のこと、70年代の半ば引退状態だったウッドストックでの暮らし、89年のアルバム「オー・マーシー」録音時の重要な経験…。つくり上げられた偶像のヴェールを剥ぐ自伝。

2005:7./ 365p

978-4-7973-3070-0

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 9 7 3 3 0 7 0 0 *

朝日新聞 2016/11/20



少年少女日本文学館<20> サアカスの馬・童謡

講談社
0

朝日新聞 2016/11/20

1987:4./ 307p
978-4-06-188270-6
本体 ¥2,000+税



竜馬がゆく<1>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

朝日新聞 2016/11/20

1998:9./ 446p
978-4-16-710567-9
本体 ¥650+税



甘いお菓子は食べません

田中 兆子 著
新潮社

セックスレス、アル中、母にならないこと—すべて剥がれ落ちた果ての、欲望の正体とは。40代の危うさをあぶり出す、第10回 R-18 文学賞大賞受賞作。

朝日新聞 2016/11/20

2014:3./ 254p
978-4-10-335351-5
本体 ¥1,400+税



ボブ・ディランは何を歌ってきたのか(eleking books)

萩原 健太 著
Pヴァイン

表現者として半世紀を超える長い歳月を駆け抜けてきたボブ・ディラン。デビューから黄金期・スランプ・復活、そして現在までの歩みを、ディスコグラフィ形式で丹念に綴る。

朝日新聞 2016/11/20

2014:8./ 379p
978-4-907276-18-8
本体 ¥1,800+税



広がるミサンドリー～ポピュラーカルチャー、メディアにおける男性差別～

ポール・ナサンソン、キャサリン・K.ヤング、久米 泰介 著
彩流社

ドラマや映画によって刷り込まれる「男=邪悪、愚か」というイメージ。ミサンドリー(男性嫌悪・男性蔑視)という概念をアメリカ・カナダの事例から検証し、ジェンダー論争におけるダブルスタンダードに疑義を投げかける。

朝日新聞 2016/11/20

2016:8./ 453p
978-4-7791-2215-6
本体 ¥4,500+税



ひとが優しい博物館～ユニバーサル・ミュージアムの新展開～

広瀬 浩二郎 著
青弓社

さわる鑑賞プログラム、さわる展示の諸相、触発型ワークショップの事例…。幅広い分野の専門家が「ひとが優しい」をキーワードとして、ユニバーサル・ミュージアムの動向を紹介し、今後のユニバーサル社会のあり方を展望する。

朝日新聞 2016/11/20

2016:8./ 307p
978-4-7872-0061-7
本体 ¥2,000+税



**青の数学(新潮文庫 nex お-96-1)**

王城 夕紀 著

新潮社

その数式(まほう)が、君の青春を変える。数学オリンピックを 2 年連続で制した天才少女・京香凛。彼女との出会いから、栢山の高校生活は始まった。高校生活を賭して数学に挑む少年少女たちを描く、熱く切ない青春小説。

朝日新聞 2016/11/20

2016:8./ 319p

978-4-10-180072-1

本体 ¥590+税

**心が折れる職場(日経プレミアシリーズ 312)**

見波 利幸 著

日本経済新聞出版社

プロカウンセラーが、メンバーの心を折ってしまう職場にはどんな特徴があり、そこで何が起きているのか、具体的なエピソードを紹介しながら解説。不調を起こす本当の原因を解明し、働きやすい職場とは何かを掘り下げる。

朝日新聞 2016/11/20

2016:7./ 219p

978-4-532-26312-6

本体 ¥850+税

**反東京オリンピック宣言**

小笠原 博毅、山本 敦久 編

航思社

様々な問題が山積・噴出しているにもかかわらず、なぜ東京でオリンピックを開かねばならないのか? 2020 東京オリンピック開催に対する、スポーツ、科学、思想、社会学などの研究者・活動家ら 16 人による異議申し立て。

朝日新聞 2016/11/20

2016:8./ 269p

978-4-906738-20-5

本体 ¥2,200+税

**関東大震災朝鮮人虐殺の記録～東京地区別 1100 の証言～**

西崎 雅夫 著

現代書館

加害の歴史を直視することは決して容易ではない。でも、そこからしか未来は見えてこない。自伝・日記・郷土資料などから関東大震災時の朝鮮人虐殺に関する証言を集め、地域別にまとめた記録。

朝日新聞 2016/11/20

2016:9./ 510p

978-4-7684-5790-0

本体 ¥9,000+税

**限りなく完璧に近い人々～なぜ北欧の暮らしは世界一幸せなのか?～**

マイケル・ブross 著

KADOKAWA

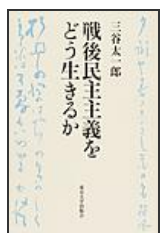
デンマークが世界一幸福? 世界一税金が高いのに? 高齢化、社会保障、移民、格差、地方衰退。北欧諸国も私たちと同じ問題を抱えている。なのになぜ? 『英国一家、日本を食べる』の著者が幸福度の秘密に迫る!

朝日新聞 2016/11/20

2016:9./ 515p

978-4-04-103389-0

本体 ¥2,200+税

**戦後民主主義をどう生きるか**

三谷 太一郎 著

東京大学出版会

「戦後民主主義」とは何か。戦後 70 年を経てあらためて「戦後」の意味を問い、現代史の深みから日本の民主主義における個人の生き方について考える。好評既刊『学問は現実に関わるか』、『人は時代といかに向き合うか』の姉妹編。

朝日新聞 2016/11/20

2016:9./ 5p,262p

978-4-13-003339-8

本体 ¥2,800+税





バカざんまい(新潮新書 683)

中川 淳一郎 著

新潮社

聞き捨てならないバカばかり！ メディアのお祭り騒ぎから芸能人の驕り、巷の勘違いまで、次々成敗!! 読後爽快感220%、ネットに脳が侵されていない賢明な読者に贈る、現代日本バカ見本帳。

2016:9./ 239p

978-4-10-610683-5

本体 ¥760+税



朝日新聞 2016/11/20



いたいコンサルすごいコンサル～究極の参謀を見抜く「10の質問」～

長谷部 智也 著

日本経済新聞出版社

業界事情を知り尽くした元コンサルタントが、コンサル選びの必勝ノウハウを明かす。いたいコンサル、すごいコンサルを見抜く「10の質問」を具体例とともに示し、それに対する「理想的な答え」のポイントを解説する。

2016:9./ 263p

978-4-532-32098-0

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2016/11/20



湯川秀樹歌文集(講談社文芸文庫 ゆ C1)

湯川 秀樹 著

講談社

日本初のノーベル賞学者を文学的側面から読む。少年時代の読書体験や源氏物語、漢詩、和歌についての随筆に、歌集「深山木」を収録。

2016:10./ 314p

978-4-06-290325-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/11/20



世界でいちばん美しい(小学館文庫 ふ 10-10)

藤谷 治 著

小学館

若き天才音楽家せった君は、音楽のことしかほとんど考えていなかったが、やがて恋をした。そんなある日、せった君と親友の島崎の前に、せった君の彼女が以前付き合っていた男が現れ…。

2016:10./ 508p

978-4-09-406344-8

本体 ¥750+税



朝日新聞 2016/11/20



魚と日本人～食と職の経済学～(岩波新書 新赤版 1623)

濱田 武士 著

岩波書店

多くの「職人」によって支えられている日本独自の魚食文化が大きく変貌している。各地の漁港や市場を歩く研究者が、現場の新たな模索とともに魚食と魚職の関係を再考し、「食べる人」の未来に向けてのかかわり方も提言する。

2016:10./ 5p,230p

978-4-00-431623-7

本体 ¥820+税



朝日新聞 2016/11/20



ミズーラ～名門大学を揺るがしたレイプ事件と司法制度～(亜紀書房翻訳ノンフィクションシリーズ 2-12)

ジョン・クラカワー 著

亜紀書房

モンタナ州・ミズーラにある名門大学のアメフトチームが引き起こしたレイプ事件。被害者への誹謗中傷、理解のない警察、加害者の特権意識…。詳細なインタビューと取材から、レイプスキャンダルの真相と司法制度の矛盾を描く。

2016:9./ 509p,5p

978-4-7505-1442-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2016/11/20



アウシュヴィッツのコーヒー～コーヒーが映す総力戦の世界～

臼井 隆一郎 著

石風社

コーヒーを飲みたいという個人的な欲求が国民的欲求となり、それが国民的欲動となって植民地獲得の動きと化し、ついには世界総力戦に入り込む。ドイツという怪物をコーヒーで読み解く。

2016:10./ 281p

978-4-88344-269-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2016/11/20



Humanitas(ヒューマニタス)(ビッグコミックス)

山本 亜季 著

小学館

盲目の剣士・オセロット。冷戦下・旧ソ連のチェス王者・ユーリ。極北の鯨ハンター・エナ。人は何のために生まれ、死んでいくのか...!?この星の片隅で抗い続けた者たちを描く 鮮烈の戦士列伝ー!!

2016:10./ 256p

978-4-09-187890-8

本体 ¥648+税



朝日新聞 2016/11/20



幼年の色、人生の色

長田 弘 著

みすず書房

幼少年時の記憶、漢詩の魅力、アメリカ、ボブ・ディラン、クラシック音楽、猫や人との出会いと別れ...。詩人・長田弘がみすずから最後に編んだ自選エッセー集。

2016:11./ 178p

978-4-622-08557-7

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2016/11/20



明るい夜に出かけて

佐藤 多佳子 著

新潮社

今は学生でいたくなかった。コンビニでバイトし、青くない海の街でひとり暮らしを始めた。唯一のアイデンティティは深夜ラジオのリスナーってこと...。若さと生きることのすべてが詰まった長篇小説。

2016:9./ 284p

978-4-10-419004-1

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/11/20、産経新聞 2016/11/27



ボブ・ディラン～ロックの精霊～(岩波新書 新赤版 1453)

湯浅 学 著

岩波書店

深読みを誘う、謎多き現代の吟遊詩人ボブ・ディランは、数々の名曲で人びとを魅了しながらも、つねに人びとの理解を超えていく。その人生の足跡と作品の軌跡をたどり、幻惑するトリックスターの核心に迫る。

2013:11./ 4p,262p,2p

978-4-00-431453-0

本体 ¥760+税



朝日新聞 2016/11/20、日本経済新聞 2016/11/20



ビッグヒストリー～われわれはどこから来て、どこへ行くのか～

デヴィッド・クリスチャン、シンシア・ストークス・ブラウン、クレイグ・ベンジャミン、長沼 毅、石井 克弥、竹田 純子、中川 泉 著

明石書店

自然科学と人文社会学が融合したビッグヒストリーのテキスト。最新の科学の成果に基づいて 138 億年前のビッグバンから未来にわたる長大な時間の中に「人間」の歴史を位置づけ、「8 つのスレッシュホールド」を軸に読み解く。

2016:11./ 19p,400p

978-4-7503-4421-8

本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2016/11/20、毎日新聞 2016/11/27



お・は・よ・う

いまむら あしこ、ひらさわ ともこ 著

あすなる書房

子どもたちが文字を発見する魔法の瞬間は、「この字何て読むの？」とたずねたとき。不思議と喜びに満ちた文字の読み始めの第一歩を、いきいきとあたたかく描いた絵本。

2016:9./ 28p

978-4-7515-2818-1

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/11/26



ニット帽の天使～プロイスラーのクリスマス物語～

オトフリート・プロイスラー、ヘルベルト・ホルツィング、吉田 孝夫 著

さ・え・ら書房

クリスマスの夜は、きっと不思議なことが起こります。ドイツの作家プロイスラーが、自身の故郷ボヘミアに生きた人たちの、真冬の白い雪につつまれた、神さまとの出会いの物語を綴る。

2016:9./ 195p

978-4-378-01520-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/11/26



おばあちゃんとバスにのって

マット・デ・ラ・ペーニャ 著

鈴木出版

ジェイとおばあちゃんは日曜日、バスに乗ります。ジェイは雨が降っていることや、車に乗らないことに文句を言いますが、おばあちゃんはいつもユーモアたっぷりに返事をします。そして、ふたりが着いたのは…。

2016:9./ 32p

978-4-7902-5315-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/11/26



武者小路実篤詩集 改版(新潮文庫)

武者小路 実篤、亀井 勝一郎 著

新潮社

平明な言葉、素朴な響きのうちに深い人生の知恵がこめられ、“無心”へのあこがれを東洋風のおおらかな表現で謳い上げた代表詩 117 編。

2002:2./ 205p

978-4-10-105712-5

本体 ¥430+税



朝日新聞 2016/11/27



脱兎リベンジ(ガガガ文庫 ガひ 3-1)

秀章 著

小学館

軽音部の笑われ者と、漫研の実力者、ふたりの残念な出会いが新しい才能を開花させる!クソツレな世界をねじ伏せろ!!第 5 回小学館ライトノベル大賞・ガガガ賞受賞作!!

2011:7./ 294p

978-4-09-451283-0

本体 ¥590+税



朝日新聞 2016/11/27



統合失調症がやってきた

ハウス加賀谷、松本 キック 著

イースト・プレス

人気絶頂の最中、突如姿を消した一人の芸人。お笑いコンビ「松本ハウス」は、ハウス加賀谷の統合失調症悪化により 1999 年活動を休止した。相方・松本キックの視点を交えながら復活までの軌跡を綴る。

2013:8./ 231p

978-4-7816-0899-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/11/27



頑張る生きるのが嫌な人のための本～ゆるく自由に生きるレッスン～

海猫沢 めろん 著

大和書房

「自由になりたいんだ」死んだ彼は、あの日そう言った。自殺した著者の友人「K」や著者自身の経験も踏まえて、自由という概念や様々な自由の形について語り、「頑張りたくない」という人に向けた生き方を探る。

朝日新聞 2016/11/27

2014:3./ 191p

978-4-479-39252-1

本体 ¥1,400+税



過労自殺 第2版(岩波新書 新赤版 1494)

川人 博 著

岩波書店

仕事による過労・ストレスが原因と思われる自殺が拡大しているのはなぜか。最近の事例や労災補償の有り様の変化、歴史の検証などを盛り込み、過労死等防止対策推進法制定後に求められる防止策と善後策を具体的に示す。

朝日新聞 2016/11/27

2014:7./ 8p,268p,8p

978-4-00-431494-3

本体 ¥820+税



サブカル・スーパースター 鬱伝(徳間文庫カレッジ よ1-1)

吉田 豪、リリー・フランキー、大槻 ケンヂ、川勝 正幸、杉作 J 太郎、菊地 成孔、みうら じゅん、ECD、松尾 スズキ、枡野 浩一、唐沢 俊一、香山 リカ、ユースケ・サンタマリア 著

徳間書店

サブカル男子は 40 歳で鬱病になるって本当?リリー・フランキー、大槻ケンヂなど、平成日本文化を担った人々に、吉田豪が迫る対談集。ユースケ・サンタマリアへの新規取材を追加して文庫化。

朝日新聞 2016/11/27

2014:11./ 317p

978-4-19-907018-1

本体 ¥750+税



ルポ過労社会～八時間労働は岩盤規制か～(ちくま新書 1138)

中澤 誠 著

筑摩書房

長時間労働が横行しているのに、さらなる規制緩和は必要なのか?「働きすぎの日本人」取材し、雇用社会の暗部をレポートする。佐々木俊尚氏、今野晴貴氏推薦

朝日新聞 2016/11/27

2015:8./ 254p

978-4-480-06845-3

本体 ¥820+税



雇用身分社会(岩波新書 新赤版 1568)

森岡 孝二 著

岩波書店

非正規労働者が増え、雇用が身分化して、中流層が没落し、貧困層が膨張している。そこから抜け出す道は? この 30 年で様変わりした雇用関係を概観し、どうすればまともな働き方を再建できるのかを考える。

朝日新聞 2016/11/27

2015:10./ 4p,240p,7p

978-4-00-431568-1

本体 ¥800+税





カフカ(ポケットマスターピース 01)

カフカ 著
集英社

カフカの面白さを1冊に凝縮。新訳『変身(かわりみ)』を筆頭に、短編『お父さんは心配なんだよ』長編『訴訟』など、さらには彼の遺した書簡集や公文書も加え、その魅力を現代に伝える。

2015:10./ 808p
978-4-08-761034-5
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/11/27



地域分散型エネルギーシステム

大島 堅一、高橋 洋 著
日本評論社

2016年の電力小売り全面自由化を迎え、日本のエネルギー政策は大きな転換点にある。地域分散型への転換をどう進めていくのか。

2016:9./ 10p,313p
978-4-535-55811-3
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2016/11/27



相方は、統合失調症

松本 キック、ハウス加賀谷 著
幻冬舎

相方であるハウス加賀谷の病(統合失調症)による活動休止から10年を経ての復活。でも、現実はそんなに簡単ではなかった…。松本キックが、復活までのこと、復活からのことを綴る。相方への思いが胸を打つノンフィクション。

2016:6./ 242p
978-4-344-02962-0
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/11/27



ゆけ、おりょう

門井 慶喜 著
文藝春秋

「あねさん、坂本さんと別れて下さい」「は？」世話のやける弟だったはずの龍馬はいつしか時代の英雄へ——酒飲みで口が達者、自分を見失わないおりょうの魅力満載の歴史長編。

2016:8./ 325p
978-4-16-390502-0
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/11/27



青い海の宇宙港<春夏篇>

川端 裕人 著
早川書房

小学六年生、天羽駆たちは、ロケットの発射場がある島の小学校の宇宙遊学生として一年を過ごす。島の豊かな自然を体験しつつ、夏休みのロケット競技会へ参加する模様を描く、少年の成長物語前篇。

2016:7./ 259p
978-4-15-209629-6
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/11/27



室町無頼

垣根 涼介 著
新潮社

かつてなく富める者と飢える者を生み出した応仁の乱前夜。肝胆相照らし、似通った野望を抱く、ならず者の頭目・骨皮道賢と浮浪の首魁・蓮田兵衛。その名を歴史に刻む企てが、奔り出していた。『週刊新潮』連載を加筆修正。

2016:8./ 530p
978-4-10-475006-1
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2016/11/27



青い海の宇宙港<秋冬篇>

川端 裕人 著

早川書房

もっと遠くへ行くロケットを打ち上げようとする駆たち宇宙探検隊は、町ぐるみの打ち上げミッションを計画。宇宙港のある島から、子どもたちのロケットは飛び立つのか?少年の成長物語、後篇。『SF マガジン』連載を書籍化。

2016:8./ 323p

978-4-15-209630-2

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/11/27



しつけない道徳

尾木 直樹 著

主婦と生活社

「しつけ=叱る」と思っていませんか? 尾木ママが、道徳が必要な理由を考えながら、わが子がまっすぐゆったりやさしく育つ、家庭でできる道徳教育を伝えます。

2016:9./ 159p

978-4-391-14896-1

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/11/27



猟師になりたい!(角川文庫 き 40-1)

北尾 トロ 著

KADOKAWA

狩猟免許や銃砲所持許可を取得するまでの戸惑い、初めて持つ銃の重さ、獲物の探し方...。新米猟師は獲物を仕留められるのか? 多くの先輩から教えを受けつつフントーした1年目の日々を気負わず綴ったレポ。

2016:10./ 221p

978-4-04-104770-5

本体 ¥640+税



朝日新聞 2016/11/27



経済学者日本の最貧困地域に挑む～あいりん改革 3 年 8 カ月の全記録～

鈴木 亘 著

東洋経済新報社

日本最大のドヤ街「あいりん地区」の再生はこうして始まった。大阪市特別顧問という当事者中の当事者である著者の筆によって描く。

2016:10./ 13p,470p

978-4-492-44434-4

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/11/27



ぼくたちが本当にシタかったこと(ガガガ文庫 ガし 3-2)

白都 くろの 著

小学館

学校に入って数か月、愁の周りは魅力的な女の子ばかり。でも気になることがある。それはこの学校が「成年向けコンテンツ」を作るための勉強をする専門学校ということで...。エロと恋愛の両立を目指す、悩める煩惱青春模様!

2016:10./ 295p

978-4-09-451638-8

本体 ¥593+税



朝日新聞 2016/11/27



狂うひと～「死の棘」の妻・島尾ミホ～

梯 久美子 著

新潮社

島尾敏雄の私小説「死の棘」の愛人の正体は? 本当に狂っていたのは妻か夫か...。島尾夫妻それぞれの日記や手紙など膨大な資料によって、妻・ミホの生涯を辿り、戦後文学史に残る伝説的夫婦の真実に迫る。

2016:10./ 666p

978-4-10-477402-9

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2016/11/27



老人ホームで生まれた<とつとつダンス>〜ダンスのような、介護のような〜

砂連尾 理 著

晶文社

舞鶴の特別養護老人ホームで生まれた「とつとつダンス」という身体表現と介護を横断するプロジェクト。ダンサー・振付家の著者が、「とつとつダンス」ができあがった経緯を語る。ダンス・ワークショップの手順も掲載。

2016/10./ 206p

978-4-7949-6935-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2016/11/27



古市くん、社会学を学び直さない!!(光文社新書 844)

古市 憲寿 著

光文社

「社会学って、何ですか?」気鋭の若手社会学者・古市憲寿のあらためての問いに、日本を代表する12人の社会学者たちが、現代社会と対峙しながら熱く答える。社会学の新たな入門書。『小説宝石』連載に加筆して書籍化。

2016/10./ 315p

978-4-334-03947-9

本体 ¥760+税



朝日新聞 2016/11/27



サークルクラッシャーのあの娘(こ)、ぼくが既読スルー決めたらどんな顔するだろう(角川スニーカー文庫 ひ-2-1-1)

秀章 著

KADOKAWA

秘宝を巡り、旅団(サークル)が活躍するトレジャーハンティング時代。封印されていた美女クリスティーナの解放によって、白魔道士ユーリのサークルの人間関係は滅茶苦茶に...!? 昼ドラ系、ドロドロ恋愛コメディ。

2016/11./ 278p

978-4-04-105003-3

本体 ¥600+税



朝日新聞 2016/11/27



古代金属国家論〜霊山、山伏、ミイラ、大仏、そして曼荼羅から日本文化の魂を探る〜(立東舎文庫 な3-1)

内藤 正敏、松岡 正剛 著

リットーミュージック

修験道や密教は単なる呪術集団ではなく、高度な科学技術者集団であった…。時は1970年代後半、写真家と民俗学者が、さまざまな歴史的な事象を、山伏、ミイラ、大仏、鉱物、植相などをキーワードに、縦横無尽に語りあう。

2016/11./ 159p

978-4-8456-2876-6

本体 ¥800+税



朝日新聞 2016/11/27



未来政府〜プラットフォーム民主主義〜

ギャビン・ニューサム、リサ・ディッキー 著

東洋経済新報社

もしお役所にシリコンバレーの発想とツールを入れたら? iPad とアプリが古い政府をガラリと変える。地域崩壊に効く最新事例集。

2016/9./ 12p, 368p

978-4-492-21228-8

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2016/11/27、読売新聞 2016/11/27、日本経済新聞 2016/11/27



『その日暮らし』の人類学〜もう一つの資本主義経済〜(光文社新書 829)

小川 さやか 著

光文社

「貧しさ」がないアマゾンの先住民、気軽に仕事を転々とするアフリカ都市民、海賊行為が切り開く新しい経済・社会…。気鋭の文化人類学者が、「その日暮らし」という生き方を明らかにする。『小説宝石』連載を加筆・修正。

2016/7./ 222p

978-4-334-03932-5

本体 ¥740+税



東京・中日新聞 2016/11/06



小さな出版社の作り方

永江 朗 著

猿江商會

出版業界を見つめ続けてきた永江朗が、小さな出版社をはじめた 11 社、12 人の人びとにロングインタビューを敢行。右肩下がりの時代に、あえて「出版社をつくる」ことを選んだ彼らの素顔を描く。

2016:9./ 234p

978-4-908260-06-3

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2016/11/06



『あしたのジョー』とその時代

森 彰英 著

北辰堂出版

あの伝説のドラマがいまよみがえる!『週刊少年マガジン』編集部の葛藤から原作者・梶原一騎の虚像と実像まで、「あしたのジョー」の真の姿を描いたノンフィクション。「あしたのジョー」の聖地も訪ねる。

2016:9./ 274p

978-4-86427-214-8

本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2016/11/06



反・民主主義論(新潮新書 687)

佐伯 啓思 著

新潮社

民主主義を信じるほど、不幸になっていく。憲法論争、安保法制、無差別テロ、トランプ現象……戦後 70 年であふれだすのは、民主主義の欺瞞と醜態である。国家を蝕む最大の元凶を、稀代の思想家が鋭く衝く。

2016:10./ 221p

978-4-10-610687-3

本体 ¥740+税



東京・中日新聞 2016/11/06、産経新聞 2016/11/20



犯罪小説集

吉田 修一 著

KADOKAWA

人間の深奥に潜む、弱く、歪んだ心。どうしてもなく罪を犯してしまった人間と、それを取り巻く人々の業と哀しみを描ききった珠玉の 5 篇。2007 年『悪人』、14 年『怒り』、そして……著者最高傑作の誕生。

2016:10./ 331p

978-4-04-104738-5

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2016/11/06、読売新聞 2016/11/13



70'HARAJUKU

中村 のん 著

小学館

70 年代、時代そのものがまさに青春だった-。著者が 10 代の頃に見ていた原宿の風景を集めた写真集。2014 年 11 月に開催されたイベント「70's 原風景 原宿」の展示作品に、新たな写真を加えたもの。

2015:8./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-09-104677-2

本体 ¥1,200+税



東京・中日新聞 2016/11/13



英語の帝国〜ある島国の言語の 1500 年史〜(講談社選書メチエ 633)

平田 雅博 著

講談社

英語はいかに世界を征服したか? 立身のために子どもへの英語教育を熱望したウェールズの親たち、アイルランド人のナショナリズムと英語への抵抗、日本の英語教育の始まりと、森有礼の「日本語廃止論」などから解明する。

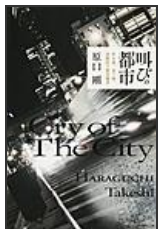
2016:9./ 270p

978-4-06-258636-8

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2016/11/13



叫びの都市～寄せ場、釜ヶ崎、流動的下層労働者～

原口 剛 著

洛北出版

「流動的下層労働者」たちは職や生存を求め、都市空間の深みを潜り抜けた。陸と海を、山谷・寿町・笹島・釜ヶ崎を行き交う、群れとなったのだ。その流動はいかなる空間を生み出していったのか。労働者の相貌を現す都市空間誌。

東京・中日新聞 2016/11/13

2016:8./ 409p

978-4-903127-25-5

本体 ¥2,400+税



東京ファッションクロニクル

渡辺 明日香 著

青幻舎

みゆき族、竹の子族、ワンレン・ボディコン、ギャル、裏原系…。1950年代から2010年代までの東京のストリートファッションを、豊富な写真とイラストで視覚的に考察。併せて、時代の背景や当時の風俗も紹介する。

東京・中日新聞 2016/11/13

2016:8./ 199p

978-4-86152-548-3

本体 ¥2,800+税



WHAT'S NEXT? ~ TOKYO CULTURE STORY ~ (MAGAZINE HOUSE MOOK)

マガジンハウス 編

マガジンハウス

『POPEYE』の創刊と「BEAMS」のオープンをきっかけに変わり続けてきた東京の40年の物語。1976年?2015年のファッションとカルチャー、世相、流行を紹介する。インタビューも収録。

東京・中日新聞 2016/11/13

2016:10./ 207p

978-4-8387-5158-7

本体 ¥1,528+税



籠の鸚鵡

辻原 登 著

新潮社

ヤクザ、ホステス、町役場の出納室長。欲望と殺意の果てに現れるむき出しの人間の姿。80年代半ば、バブル期の和歌山を舞台に、怒涛のスリルと静謐な思索が交錯する傑作長篇。『新潮』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2016/11/13、日本経済新聞 2016/11/13

2016:9./ 316p

978-4-10-456306-7

本体 ¥1,600+税



経済学のすすめ～人文知と批判精神の復権～(岩波新書 新赤版 1622)

佐和 隆光 著

岩波書店

経済学にくわえて、文学・哲学・歴史学・思想史を学び、経済学を水面下で支える思想信条に基づく批判精神を培う。思考力・判断力・表現力を鍛えるためにモラル・サイエンスとしての経済学がいかに役立つのかを解き明かす。

東京・中日新聞 2016/11/13、日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 8p,210p

978-4-00-431622-0

本体 ¥780+税



ノーベル経済学賞～天才たちから専門家たちへ～(講談社選書メチエ 636)

根井 雅弘 著

講談社

1969年に創設されたノーベル経済学賞。受賞を後悔したミルダール、デモ隊に乱入されたフリードマン、投機に足をすくわれたマートンとショールズ…。半世紀近くにわたる歴史を一気にたどり、将来を展望する。

東京・中日新聞 2016/11/20

2016:10./ 260p

978-4-06-258639-9

本体 ¥1,650+税





生老病死と健康幻想～生命倫理と優生思想のアポリア～

八木 晃介 著

批評社

近代合理(功利)主義的な差別的な生命倫理を徹底的に批判。優生思想(社会ダーウィニズム)と健康幻想(ヘルシズム)の反知性の論理とそれへの対抗論理の実際を、多くの具体的事例によって根源的に抉り出す。

2016:9./ 342p

978-4-8265-0645-8

本体 ¥3,000+税



東京・中日新聞 2016/11/20



移民の経済学

ベンジャミン・パウエル 編

東洋経済新報社

「移民は雇用を奪い、犯罪を増やす」という事実でない感情論を排し、データと経済学的分析から正しく移民の影響を明らかにする書。

2016:10./

14p,313p,35p

978-4-492-31488-3

本体 ¥2,800+税



東京・中日新聞 2016/11/20



吉行淳之介～抽象の閃き～

加藤 宗哉 著

慶應義塾大学出版会

昭和のダンディズム、なまなましい生理の結晶と澄みわたる文体の魅力…。吉行淳之介の主要な作品の生成をたどりながら、あらたなる吉行文学の本質を論じる。『三田文学』連載を書籍化。

2016:10./ 186p

978-4-7664-2381-5

本体 ¥2,800+税



東京・中日新聞 2016/11/20



難民問題～イスラム圏の動揺、EUの苦悩、日本の課題～(中公新書 2394)

墓田 桂 著

中央公論新社

紛争が続くイスラム圏、難民・移民の関係した事件が続発する欧州。苦しむ難民を見過ごしてよいのか、だがこのままでは社会が壊れかねない。欧州の苦悩から日本は何を学ぶか。現実に即して難民問題を考える。

2016:9./ 6p,246p

978-4-12-102394-0

本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2016/11/20



最も危険なアメリカ映画～『国民の創生』から『バック・トゥ・ザ・フューチャー』まで～

町山 智浩 著

集英社インターナショナル

全米に人種差別を蘇らせた「名画」、米軍が封印した「巨匠の記録映画」、今も論争が続く「感動作」、トランプ現象を予告した「問題作」——アメリカ映画の中に潜む「超大国の暗部」を徹底解説!

2016:10./ 255p

978-4-7976-7334-0

本体 ¥1,200+税



東京・中日新聞 2016/11/20、読売新聞 2016/11/20、産経新聞 2016/11/27



森は怪しいワンダーランド

田中 淳夫 著

新泉社

精霊、怪獣、エセ科学...森には不思議な話がいっぱい!森林ジャーナリスト田中淳夫が森の新しい魅力を紹介する抱腹絶倒のノンフィクション。

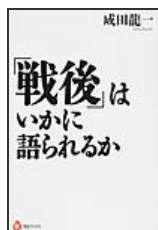
2016:9./ 254p

978-4-7877-1608-8

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2016/11/27



「戦後」はいかに語られるか(河出ブックス 098)

成田 龍一 著

河出書房新社

なぜこの国の「戦後」は終わらないのか。どの世代がどの立場から語るかによって異なる相貌を見せる「戦後」の構造を炙り出す。

東京・中日新聞 2016/11/27

2016:10./ 200p

978-4-309-62498-3

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 3 0 9 6 2 4 9 8 3 *



子規と漱石～友情が育んだ写真の近代～(集英社新書 0854)

小森 陽一 著

集英社

第一高等中学の同窓生である正岡子規と夏目漱石は、意見を闘わせながら新たな表現を模索した。そんな「文学者の友情」を描きながら、子規が短歌に持ち込んだ「写生」概念の成立過程を解説する。

東京・中日新聞 2016/11/27

2016:10./ 247p

978-4-08-720854-2

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 0 8 7 2 0 8 5 4 2 *



カメラが撮らえた古写真で見る日本の名城(ビジュアル選書)

中井 均、加藤 理文、木戸 雅寿 著

KADOKAWA

日本全国 60 城の、幕末から昭和初期にかけての古写真と現況写真を比較。失われた名城の天守の姿や、復元前の雄姿を堪能でき、城郭古写真の見方・楽しみ方がイチからわかる解説も充実。『歴史読本』連載をもとに書籍化。

読売新聞 2016/11/06

2015:1./ 318p

978-4-04-600880-0

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 0 4 6 0 0 8 8 0 0 *



城のつくり方図典 改訂新版

三浦 正幸 著

小学館

城地の選び方、石垣・天守・御殿の築き方から、城下町のつくり方まで、城造りのすべてがわかる。驚異の築城技術と秘められた謎を、築城プロセスをたどりながら豊富な写真と図で解説する。最新の研究成果を盛り込んだ改訂新版。

読売新聞 2016/11/06

2016:2./ 255p

978-4-09-626327-3

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 0 9 6 2 6 3 2 7 3 *



図解 戦国の城がいちばんよくわかる本～基本的な仕組みから縄張り図の読み方まで～

西股 総生 著

ベストセラーズ

土の城がわかれば、戦国時代はもっと面白い!大河ドラマ「真田丸」戦国軍事考証の著者による、戦国の城の入門書。城の仕組み・築き方・戦い方、そして歩き方・楽しみ方を、難しい専門用語は使わずにわかりやすく説明する。

読売新聞 2016/11/06

2016:2./ 197p

978-4-584-13703-1

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 5 8 4 1 3 7 0 3 1 *



永い言い訳(文春文庫 に20-2)

西川 美和 著

文藝春秋

妻が死んでも泣けない男のラブストーリー。映画化話題作 予期せず家族を失った者たちは、どのように人生を取り戻すのか——。人を愛することの「素晴らしさと歯がゆさ」を描ききった物語。

読売新聞 2016/11/06

2016:8./ 341p

978-4-16-790670-2

本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 6 7 0 2 *



家族のゆくえは金したい

信田 さよ子 著
春秋社

持てる世代の親と無職の子ども、依存症者とその家族、経済的 DV…。リアルな事例から現代日本を浮かび上がらせ、実践的な打開策を紹介する。『春秋』『ウェブ春秋』掲載をもとに書籍化。

2016:7./ 244p
978-4-393-36641-7
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/11/06



核拡散防止の比較政治～核保有に至った国、断念した国～

北野 充 著
ミネルヴァ書房

「核のない世界」の実現に向けて何が必要なのか。中国、インド、パキスタン、南アフリカ、イラン、北朝鮮…。核開発決断の決定要因をはじめ、核開発阻止への取り組みなどを、軍縮不拡散外交の第一線に立つ著者が解明する。

2016:7./ 18p,439p,9p
978-4-623-07646-8
本体 ¥6,000+税



読売新聞 2016/11/06



スペース金融道

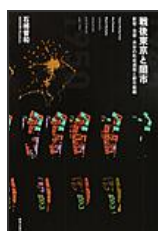
宮内 悠介 著
河出書房新社

「宇宙だろうと深海だろうと、核融合炉内だろうと零下 190 度の惑星だろうと取り立てる」新星金融コンビ!新本格 SF コメディ誕生。

2016:8./ 289p
978-4-309-02493-6
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/11/06



戦後東京と闇市～新宿・池袋・渋谷の形成過程と都市組織～

石樽 督和 著
鹿島出版会

世界屈指の繁華街、新宿・池袋・渋谷駅一帯はどのように戦災から再生し、高度経済成長期に激しく「成長・変化・代謝」したのか。闇市を原形に都市の構造変化を解明した、副都心ターミナル近傍の形成史。

2016:9./ 409p
978-4-306-07328-9
本体 ¥5,400+税



読売新聞 2016/11/06



竹宮恵子カレイドスコープ(とんぼの本)

竹宮 恵子、原田 マハ、石田 美紀、寺山 偏陸、さいとう ちほ、勝谷 誠彦 著
新潮社

少女マンガを変革するカウンターでありつづけて 50 年、いま、竹宮恵子が、竹宮ワールドの全貌を語り尽くす。原画 130 点余、「風と木の詩」クロッキーノート全ページなども収載。

2016:9./ 208p
978-4-10-602269-2
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/11/06



きもの自在(ちくま文庫 つ 23-1)

鶴見 和子 著
筑摩書房

インドのサリーや中国の刺繍布を着物や帯に仕立て、異文化の豊かな出会いを楽しむ。着物は魂のよりどころと語る著者の自在な着物術。解説 田中優子

2016:10./ 204p
978-4-480-43391-6
本体 ¥880+税



読売新聞 2016/11/06



純情ヨーロッパ～呑んで、祈って、脱いでみて～

ダイヤモンド・ビッグ社

「ガンジス河でバタフライ」の著者・たかのてるこ、会社を辞め、ヌーディスト・ビーチの聖地で真っ裸になる!スペイン、フランス、ポルトガル、イタリア、デンマークなどへの鉄道旅を綴る。

読売新聞 2016/11/06

2016:10./ 317p 図版 8枚

978-4-478-04950-1

本体 ¥1,280+税



セラピスト～Silence in Psychotherapy～(新潮文庫 さ-53-7)

最相 葉月 著

新潮社

心の病は、どのように治るのか。膨大な取材と証言を通して、心の治療のあり方に挑むノンフィクション。故河合隼雄の箱庭療法の意義を問い、精神科医の中井久夫と対話を重ね、セラピストとは何かを探る。

読売新聞 2016/11/06

2016:10./ 509p

978-4-10-148227-9

本体 ¥840+税



「兆し」をとらえる～報道プロデューサーの先読み力～(角川新書 K-104)

野口 雄史 著

KADOKAWA

複雑化した現代では、一歩先を読むことは難しい。しかし、社会の困難を乗り越える人や企業をいち早くつかみ、届ける人がいる。テレビ東京の番組「ガイアの夜明け」を長年率いたプロデューサーが、時代のつかみ方を公開。

読売新聞 2016/11/06

2016:10./ 197p

978-4-04-082076-7

本体 ¥800+税



ありがちな女じゃない

レナ・ダナム 著

河出書房新社

ドラマ「Girls/ガールズ」製作、脚本、監督、主演を務め、時代の寵児となったレナ・ダナムによる全米ベストセラー初エッセイ!

読売新聞 2016/11/06

2016:10./ 350p

978-4-309-20719-3

本体 ¥1,800+税



月はぼくらの宇宙港

佐伯 和人 著

新日本出版社

人類が太陽系へ進出する宇宙港として、注目が高まる月。月探査計画 SLIM など、複数の将来月探査プロジェクトの立案に参加している理学博士が、最新の月科学、人類と月の新しい関わり方を紹介する。ミニ実験コーナーも収録。

読売新聞 2016/11/06

2016:10./ 159p

978-4-406-06064-6

本体 ¥1,500+税



周一理想化された古代王朝(中公新書 2396)

佐藤 信弥 著

中央公論新社

太公望や周公旦などの建国の功臣、孔子や老子といった諸子百家、斉の桓公ら春秋の五覇などが名高い古代中国の王朝、周。その実態はいかなるものだったのか。金文や甲骨文などの当時の史料から、王朝の実像を再現する。

読売新聞 2016/11/06

2016:9./ 4p,237p

978-4-12-102396-4

本体 ¥820+税





人間の煩悩(幻冬舎新書 さ-16-1)

佐藤 愛子 著

幻冬舎

悩みの量こそが人間の深さ。激動の 92 年を生きてきた著者による人生の醍醐味とは?著者の過去の作品(小説・エッセイ)の中から文章を抜粋してまとめた、人間の本質を的確に突いた一冊。

2016:9./ 205p

978-4-344-98428-8

本体 ¥780+税



読売新聞 2016/11/06



人情ヨーロッパ～人生、ゆるして、ゆるされて～

ダイヤモンド・ビッグ社

スイスの急流キャニオニング、スウェーデンの手づかみザリガニ宴会、ハンガリーの世界最大の温泉湖…。ウルトラディープな未知の世界!「純情ヨーロッパ」に続く、たかのてるこの鉄道旅<中欧&東欧編>。見返しに写真あり。

2016:10./ 383p 図版 8

枚

978-4-478-04951-8

本体 ¥1,380+税



読売新聞 2016/11/06



凸凹地図で読み解く日本の城～この地にこの城を建てた理由～(ビジュアルはてなマップ)

島崎 晋、東京地図研究社 著

技術評論社

「地形」という側面から城を考察した書。日本の 50 の名城を山城・平山城・平城・水城の 4 つに分類し、各城について 4 つの地図を見ながら、なぜこの地に築城するに至ったのかを地形的な特性や時代背景を交えて解説する。

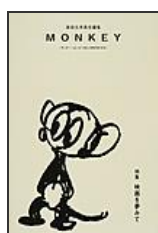
2016:11./ 127p

978-4-7741-8384-8

本体 ¥2,180+税



読売新聞 2016/11/06



MONKEY<vol.10(FALL/WINTER 2016)> 映画を夢みて

スイッチ・パブリッシング

ポール・オースターが心打たれた映画とは?カズオ・イシグロが新進作家だった頃に書いたシナリオとは?西川美和さんが初めて映画監督を主人公に書いた短篇と、スペシャルインタビューも掲載!

2016:10./ 142p

978-4-88418-409-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2016/11/06



アイデアは敵の中にある～「結果」を出す人は、どんなコミュニケーションを心がけているのか～

根津 孝太 著

中央公論新社

モノづくりの現場をプロダクトデザイナーとして訪ね歩いてきた著者が、個々の能力を最大化し、人をやる気にさせる「クリエイティブ・コミュニケーション」の考え方や秘訣を伝授する。

2016:10./ 212p

978-4-12-004898-2

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/11/06



鬼才五社英雄の生涯(文春新書 1087)

春日 太一 著

文藝春秋

極彩色のエンターテイナー、映画監督・五社英雄。自らの人生も「演出」した男はなぜその背に鬼を彫り込んだのか? 虚実ハッキリ入り乱れた生涯に翻弄されながら、渾身の取材で「鬼」の真実に迫る。

2016:8./ 317p

978-4-16-661087-7

本体 ¥920+税



読売新聞 2016/11/06、産経新聞 2016/11/20



フランスはどう少子化を克服したか(新潮新書 689)

高崎 順子 著

新潮社

ズレてない？ 日本の政策——。親に期待しない、3歳からは学校に、出産は無痛で——手厚い支援策の根幹を貫く、5つの新発想を徹底レポート。これからの育児と少子化問題を考えるための必読書。

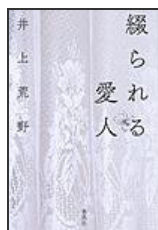
2016:10./ 219p

978-4-10-610689-7

本体 ¥740+税



読売新聞 2016/11/06、朝日新聞 2016/11/13



綴られる愛人

井上 荒野 著

集英社

作家であり人の妻でもある女。地方に住む男子大学生。二人は立場を偽り、秘密の文通を始める。熱を帯びる手紙は、彼らを危険すぎる関係へいざない…。著者新境地、衝撃の長編恋愛サスペンス。

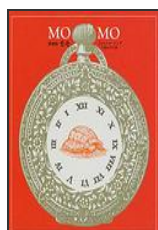
2016:10./ 269p

978-4-08-771012-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/11/06、日本経済新聞 2016/11/20



モモ～時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語～ 愛蔵版

ミヒヤエル・エンデ 著

岩波書店

「時間」の真の意味を問う、ドイツの作家ミヒヤエル・エンデ(1929-95)の人気ファンタジー『モモ』。しゃれた造本で、やや大人向きの美しいスペシャル・エディションをお届けします。

2001:11./ 377p

978-4-00-115567-9

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2016/11/13



グローバリゼーションを擁護する

ジャグディッシュ・バグワティ、鈴木 主税、桃井 緑美子 著

日本経済新聞出版社

急速に進展するグローバリゼーションは、経済や社会、企業活動にどんな影響を及ぼすのか？世界各地で噴き上がるアンチ・グローバリゼーション運動の主張は、どこが正しくどこが間違っているのか？多種多様な論点から検証。

2005:4./ 456p

978-4-532-35140-3

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/11/13



「経済人」の終わり(ドラッカー名著集)

P.F.ドラッカー 著

ダイヤモンド社

経済至上主義は社会を機能させ人を幸せにするか。社会的領域と経済的領域に限定して分析し、ファシズム全体主義を根源的な革命として理解し、説明する。1939年、ドラッカー29歳の処女作にして思想の原点。

2007:11./ 310p

978-4-478-00120-2

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/11/13



世界文学全集～池澤夏樹=個人編集～<1-04> 太平洋の防波堤/愛人ラマン/悲しみよこんにちは

マルグリット・デュラス、フランソワーズ・サガン 著

河出書房新社

仏領インドシナのけだるい風土で暮らす、貧しいフランス人入植者の家族をめぐる2つの物語「太平洋の防波堤」「愛人」と、父の再婚相手を破滅へ追いやる17歳の少女の愛と孤独を描く「悲しみよこんにちは」の3編を収録。

2008:3./ 600p,22p
978-4-309-70944-4

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2016/11/13



不滅(集英社文庫)

ミラン・クンデラ 著

集英社

美しい女性アニェスと愛に貪欲な妹ローラ、文豪ゲーテとその恋人ベッティーナ…。さまざまな女性たちが時空を超えて往きかい、存在の不滅、魂の永遠性を奏でる愛の物語。20世紀文学の最高傑作。

1999:10./ 591p

978-4-08-760369-9

本体 ¥1,143+税



読売新聞 2016/11/13



太陽の Pasta、豆のスープ(集英社文庫 み 47-1)

宮下 奈都 著

集英社

結婚式直前に突然婚約を解消されてしまった明日羽。失意のどん底にいる彼女に叔母のロッカが提案したのは「やりたいことリスト」の作成だった。自分の心を見つめ直すことで、明日羽は少しずつ成長してゆく…。

2013:1./ 286p

978-4-08-745026-2

本体 ¥500+税



読売新聞 2016/11/13



謹訳平家物語<1>

林 望 著

祥伝社

「平家物語」の魅力をあますところなく甦らせる現代語訳の決定版。1 は、巻第一から巻第三までを収録。どのページもきれいに開いて読みやすい、写本を彷彿とさせる糸綴じの「コデックス装」本。

2015:4./ 317p

978-4-396-61523-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/11/13



謹訳平家物語<2>

祥伝社

「平家物語」の魅力をあますところなく甦らせる現代語訳の決定版。2 は、巻第四から巻第六までを収録。どのページもきれいに開いて読みやすい、写本を彷彿とさせる糸綴じの「コデックス装」本。

2015:11./ 263p

978-4-396-61539-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/11/13



謹訳平家物語<3>

林 望 著

祥伝社

「平家物語」の魅力をあますところなく甦らせる現代語訳の決定版。3 は、巻第七から巻第九までを収録。どのページもきれいに開いて読みやすい、写本を彷彿とさせる糸綴じの「コデックス装」本。

2016:4./ 274p

978-4-396-61561-1

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/11/13



「文藝」戦後文学史

佐久間 文子 著

河出書房新社

戦後派の後退で忘れられたかのように見えた〈戦後〉は、しかし現代まで繋がっていた。雑誌「文藝」から浮かび上がるその軌跡。

読売新聞 2016/11/13

2016:9./ 308p

978-4-309-02497-4

本体 ¥2,400+税



崩壊するアメリカの公教育～日本への警告～

鈴木 大裕 著

岩波書店

公立学校の廊下に進出する企業広告、ヘッジファンドが群がるフランチャイズ型「公設民営学校」、使い捨て労働者と化する教員、たらい回しにされる子どもたち…。公教育を「ビジネス」に変えたアメリカの迷走と人々の抵抗を描く。

読売新聞 2016/11/13

2016:8./ 6p,164p,12p

978-4-00-024792-4

本体 ¥1,800+税



形象の力～合理的言語の無力～(高山宏セレクション<異貌の人文学>)

エルネスト・グラッシ 著

白水社

近代合理主義の論証言語に対する形象言語の優位と、古代雄弁術の復権を謳い、メタファによる世界再統合の道を探るフマニズム形象論。

読売新聞 2016/11/13

2016:9./ 397p,6p

978-4-560-08308-6

本体 ¥5,400+税



日本の一文30選(岩波新書 新赤版 1620)

中村 明 著

岩波書店

プロの作家が生み出す名表現の数々。そこにはどんなテクニックがあるのか? 夏目漱石や志賀直哉から現代の藤沢周平、村上春樹まで、読み手を唸らせる一流作家30人の表現技法を日本語の名案内人の導きで学べる書。

読売新聞 2016/11/13

2016:9./ 4p,189p

978-4-00-431620-6

本体 ¥800+税



晴れた日の森に死す(創元推理文庫 Mフ36-1)

カーリン・フォッサム 著

東京創元社

ノルウェーの森の奥で老女が殺害された。第一発見者は精神病院に入院中の青年エリケを現場で目撃していた。セイエル警部は冷静に証言を集めていくが、エリケは銀行強盗に巻きこまれ、逃走する強盗犯の人質になっていて…。

読売新聞 2016/11/13

2016:9./ 381p

978-4-488-17405-7

本体 ¥1,060+税



昭和天皇御召列車全記録

原 武史、日本鉄道旅行地図帳編集部 編

原 武史 著

新潮社

「昭和天皇実録」から浮かび上がった、24万2650キロの鉄道乗車記録。膨大な鉄道資料を駆使して、区間・発着時刻・牽引機・編成に加え伝説・エピソードなども徹底調査する。

読売新聞 2016/11/13

2016:9./ 159p

978-4-10-320523-4

本体 ¥2,800+税





昔ばなしの謎～あの世とこの世の神話学～(角川ソフィア文庫 J118-1)

古川 のり子 著

KADOKAWA

ときをこえて繰り返す物語に共通の世界観とは-。「桃太郎」「浦島太郎」「一寸法師」…。絵本で親しんだ昔ばなしのもととなった各地の伝承から、昔ばなしが本来もっていた豊かな意味を明らかにする。

2016:9./ 268p

978-4-04-400080-6

本体 ¥880+税



読売新聞 2016/11/13



新聞力～できる人はこう読んでいる～(ちくまプリマー新書 263)

齋藤 孝 著

筑摩書房

記事を切り取り、書き込み、まとめる。身体ごとで読んで、社会を生き抜くための問題解決型の学力、新聞力を身につけよう。

2016:10./ 175p

978-4-480-68968-9

本体 ¥780+税



読売新聞 2016/11/13



太陽と痛み

ヘスス・カラスコ、轟 志津香 著

早川書房

長い間雨が降らず、強い陽射しで干上がった大地。村を脱走した少年はヤギ飼いの老人と出会う。荒野をともに往く二人。旅路の果てに何が待つのか。スペイン文学の気鋭が描く、苦痛と救いの物語。

2016:9./ 228p

978-4-15-209636-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/11/13



十年～高橋睦郎句集～

高橋 睦郎 著

KADOKAWA

自由詩、定型詩、小説などあらゆるジャンルを横断する詩人による、新しい叙情の可能性を切り拓く第9句集。10年間の集大成となる609句は、浩瀚な古典の世界を基調に日本語の豊かさ、深さを重層的に味わえる。

2016:9./ 221p

978-4-04-876400-1

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2016/11/13



シベリア出兵～近代日本の忘れられた七年戦争～(中公新書 2393)

麻田 雅文 著

中央公論新社

ロシア革命後、反革命軍救出を名目にロシアへ派兵した日本は、バイカル湖畔まで占領。だが、パルチザンや赤軍に敗退、虐殺にも遭遇し…。増派と撤兵に揺れる内政、酷寒の地での7年間にわたる戦争の全貌を描く。

2016:9./ 6p,266p

978-4-12-102393-3

本体 ¥860+税



読売新聞 2016/11/13



みすず書房旧社屋(SERIE BIBLIOTHECA 1/3)

潮田 登久子 著

幻戯書房

96年までの48年間、みすず書房の本が生まれた本郷三丁目の旧社屋を写真と関係者の文章で残す。人文書出版のひとつの現場。

2016:10./ 196p

978-4-86488-109-8

本体 ¥3,300+税



読売新聞 2016/11/13



下北沢について

吉本 ばなな 著
幻冬舎

毎日の中でちょっとだけ、全部手を開いて、はいはいどうぞ、と言って、相手にゆずってあげることはこれからもできるだろう…。心に効く 19 の物語。下北沢の書店「B&B」発行の同名の小冊子に書き下ろしを加え単行本化。

2016:9./ 227p
978-4-344-03008-4
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/11/13



超初心者のためのサイバーセキュリティ入門(文春新書 1097)

齋藤ウィリアム浩幸 著
文藝春秋

インターネットを安全・快適に使うためのルールブック。アメリカと日本で活躍するサイバーセキュリティの第一人者が、分かりやすく・楽しく、基礎から応用までレッスンする。チェックリスト付き。

2016:10./ 209p,28p
978-4-16-661097-6
本体 ¥800+税



読売新聞 2016/11/13



最高の結果を引き出す質問力～その問い方が、脳を変える!～

茂木 健一郎 著
河出書房新社

「正解」を出すだけなら人工知能でもできる時代、世界では「質問力」が求められている!今を生きるための実践的脳の使い方入門。

2016:11./ 223p
978-4-309-24784-7
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/11/13



謹訳平家物語<4>

林 望 著
祥伝社

「平家物語」の魅力をあますところなく甦らせる現代語訳の決定版。4 は、巻第十から巻第十二、灌頂巻までを収録。どのページもきれいに開いて読みやすい、写本を彷彿とさせる糸綴じの「コデックス装」本。

2016:10./ 334p
978-4-396-61582-6
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/11/13、産経新聞 2016/11/19、毎日新聞 2016/11/20



ちいさな城下町(文春文庫 あ 73-1)

安西 水丸 著
文藝春秋

有名無名を問わず、水丸さんが惹かれてやまなかった 20 の城下町。“有名すぎない”ローカル城下町の歴史が作り出す、家並み、神社仏閣、人々の暮らし、食べ物を絵と文で紹介する。

2016:11./ 267p
978-4-16-790734-1
本体 ¥630+税



読売新聞 2016/11/13、朝日新聞 2016/11/27



水銀飛行(新鋭短歌 29)

中山 俊一 著
書肆侃侃房

せいねんとせいねん神経衰弱のカードを伏せるときの微風 ひとすじの地平線を内包する紙飛行機は冬風を越え 今を詠う歌人・中山俊一が 2012 年から 2016 年にかけて制作した 244 首を収めた第 1 歌集。

2016:9./ 141p
978-4-86385-235-8
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/11/15



どうで死ぬ身の一踊り

西村 賢太 著

講談社

唯一の憧憬にすがって生きる男の、無様で惨めな「一踊り」を描いた、あまりに暗くて、惨めで、だから可笑しくて、稲光が目の前に閃く創作集。表題作のほか、「墓前生活」「一夜」の2篇を収録。

読売新聞 2016/11/20

2006:1./ 211p

978-4-06-213306-7

本体 ¥1,500+税



ヤマネコ毛布

山福 朱実 著

復刊ドットコム

旅に出ることを決めたヤマネコに、森の仲間たちが贈った毛布。それぞれがヤマネコとの思い出を縫い込んで…。美しい木版画で綴る、温もりあふれる絵本。切り取って使うポストカード付き。

読売新聞 2016/11/20

2015:2./ 1冊(ページ付なし)

978-4-8354-5154-1

本体 ¥2,000+税



怪書探訪

古書山 たかし 著

東洋経済新報社

古書の世界では名の知れた著者がつまびらかにする古本の魅力。古書マニアでなくとも、本好きならば必ず楽しめるネタが満載。

読売新聞 2016/11/20

2016:10./ 304p

978-4-492-04595-4

本体 ¥1,800+税



チェンジ・ザ・ネーム

アンナ・カヴァン、細美 遙子 著

文遊社

輝く金髪、うつろな眼差し。両親から愛されているという実感が得られないシーリアは、実家にいたくないがために、知り合ったばかりの青年技師クレアと結婚し…。やがて作家となった孤独な少女の人生を描く。

読売新聞 2016/11/20

2016:8./ 269p

978-4-89257-118-3

本体 ¥2,600+税



乱流～米中日安全保障三国志～

秋田 浩之 著

日本経済新聞出版社

建前を捨てた米国、勢力圏を上げようとする中国。米中の攻防はどんな結末に向かうのか、それが日本の将来に意味するものは何か。米中日の外交戦略に精通した記者がパワーゲームの実態を明らかにし、日本が迫られる選択を示す。

読売新聞 2016/11/20

2016:9./ 383p

978-4-532-16996-1

本体 ¥2,200+税



古典について、冷静に考えてみました

身崎 壽 編

逸身 喜一郎 著

岩波書店

古典とは何か、古典は何の役に立つのか、古典はどうして古典なのか。12人の古典研究者が「古典」をめぐるさまざまな問いかけに真摯に向き合い、古典の深み、広がり、その豊かさを問い直す。

読売新聞 2016/11/20

2016:9./ 24p, 210p

978-4-00-022950-0

本体 ¥1,900+税





Kor La

竹沢 うるま 著

小学館

コルラとはチベット仏教徒が祈りを捧げるために聖地を時計回りに回る巡礼のこと。4000 メートルを超える高地、気温-20℃。チベット文化圏を巡り、大地とともに生きる人々の祈りを撮影した写真集。

2016:9./ 191p

978-4-09-682231-9

本体 ¥3,400+税



読売新聞 2016/11/20



紛争・対立・暴力～世界の地域から考える～(岩波ジュニア新書 842)

西崎 文子、武内 進一 著

岩波書店

なぜ世界でテロや暴力が蔓延するのか。亀裂の走る世界とどう向き合うか。欧州の移民問題や中東のイスラム国(IS)など各地の対立や衝突の背景を、わかりやすく解説する。2015 年 10 月開催のシンポジウムをもとに書籍化。

2016:10./ 16p,177p

978-4-00-500842-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2016/11/20



僕の音楽キャリア全部話します～1971 Takuro Yoshida?2016 Yumi Matsutoya～

松任谷 正隆 著

新潮社

誰もが一度は耳にしたあのイントロ、あのフレーズは、いかにして生まれたのか。デビューしてから 45 年。日本ポップシーンのメインストリームで「音」をつくり続けてきた松任谷正隆が、自身の仕事と音楽観の全てを語りつくす。

2016:10./ 189p

978-4-10-350481-8

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/11/20



魂の沃野<上>

北方 謙三 著

中央公論新社

死ぬまでは前を見て生きろ!加賀の地に燃え広がる一向一揆の炎。蓮如、富樫政親との奇縁から、闘いに身を投じたある若き侍を描く、血潮たぎる歴史巨篇。『読売新聞』連載を単行本化。

2016:9./ 334p

978-4-12-004888-3

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/11/20



魂の沃野<下>

北方 謙三 著

中央公論新社

戦場を覆い尽くす念仏が、風谷党の小十郎を、守護の政親を、別々の明日に迫り立ててゆく…。加賀一向一揆を生きた男たちの雄叫びがこだまする感動巨篇。『読売新聞』連載を単行本化。

2016:9./ 308p

978-4-12-004889-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/11/20



ニガー・ヘヴン

カール・ヴァン・ヴェクテン、三宅 美千代 著

未知谷

20 年代の NY、黒人居住区=ハーレム。刺激的リズムや激しい色彩を愛する心を誇らしく思うメアリーと、人種イデオロギーに捉われるパイロン。2 人の恋を軸に黒人社会の多様性をアップテンポで鮮やかに描く。

2016:9./ 300p

978-4-89642-507-9

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2016/11/20



自伝的女流文壇史(講談社文芸文庫 よ J2)

吉屋 信子 著

講談社

十代の終わりに上京して文壇へと飛び込んだ吉屋信子。人望あつく昭和初期の女流文学者を牽引してきた著者が、強く心に残った先達、同輩の文学者たちの在りし日の面影を直截にして真情こまやかに書き綴った貴重な時代の記録。

2016:11./ 260p

978-4-06-290329-5

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/11/20



ジャーニー・ボーイ(朝日文庫 た 63-1)

高橋 克彦 著

朝日新聞出版

明治 11 年、ピストル・ボーイの異名を持つ通訳、伊藤鶴吉は、英国人女性探検家、イザベラ・バードの北海道旅行に同行することに。まずは日光を目指す 2 人だが、反政府勢力の魔手が迫り…。

2016:10./ 381p

978-4-02-264825-9

本体 ¥740+税



読売新聞 2016/11/20



大人のコミュニケーション術～渡る世間は畏だらけ～(光文社新書 845)

辛酸 なめ子 著

光文社

自称「コミュカ偏差値 42」の辛酸さんが、コミュカの UP を目指して四苦八苦。うわさ、下ネタ、マウンティングへの対処法とは?ちょっぴり切ない处世をめぐるエッセイ集。『小説宝石』ほか掲載に加筆し書籍化。

2016:10./ 215p

978-4-334-03948-6

本体 ¥740+税



読売新聞 2016/11/20



汽車旅放浪記(中公文庫 せ 9-2)

関川 夏央 著

中央公論新社

夏目漱石「坊っちゃん」から、松本清張「点と線」まで、舞台となった路線に乗り、名シーンを追体験。ローカル列車に揺られながら、かつて作家たちが鉄道を作品に取り込んだ理由に思いを馳せる。

2016:10./ 313p

978-4-12-206305-1

本体 ¥800+税



読売新聞 2016/11/20



北陸朝市紀行(<私の大学>テキスト版 8)

池田 進一 著

こぶし書房

千年の歴史を持つ朝市は、今も生活の中で息づいている。富山県福野、福井県越前大野、石川県珠洲飯田・輪島…移り変わる四季が刻んだ露店のおばちゃんたちの表情とともに、彼女たちのことばを伝える。朝市の地図も収録。

2016:11./ 170p

978-4-87559-319-5

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/11/20



写真をアートにした男～石原悦郎とツァイト・フォト・サロン～

栗生田 弓 著

小学館

日本初のコマーシャル・フォト・ギャラリーであるツァイト・フォト・サロンを創設し、海外作家の紹介や日本人作家の発掘に尽力した石原悦郎。4 年間にわたるインタビューから得られた彼の発言をもとに、その軌跡を描写する。

2016:10./ 317p

978-4-09-682224-1

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2016/11/20、朝日新聞 2016/11/27



ひらかれる建築～「民主化」の作法～(ちくま新書 1214)

松村 秀一 著

筑摩書房

建築が大転換している。居住のための「箱」から暮らし生きるための「場」へ。「箱」は今、人と人をつなぐコミュニティとなる!

2016:10./ 220p

978-4-480-06919-1

本体 ¥780+税



読売新聞 2016/11/20、朝日新聞 2016/11/27



台湾少女、洋裁に出会う～母とミシンの 60 年～

鄭 鴻生 著

紀伊國屋書店出版部

『主婦之友』『婦人倶楽部』...。日本統治下の 1930 年代の台湾で日本の婦人雑誌に魅了された少女は、親の反対を押しきって洋装店の見習いとなる。やがて台南に自ら洋裁学校を開校し...。母が息子に語った“小さな近代史”。

2016:10./ 268p

978-4-314-01143-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/11/20、日本経済新聞 2016/11/20



オレとテレビと片腕少女

テリー伊藤 著

KADOKAWA

戦後の匂いが残る 1949 年、オレは築地の玉子焼屋の四男坊として生まれた。船上生活の少女、コソ泥同級生、片腕の風俗嬢... 貧しくも面白い人々との出会いを重ね、やがてテレビの世界に入っていく。自伝的ノンフィクション。

2016:10./ 270p

978-4-04-104318-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/11/20、毎日新聞 2016/11/20



物理講義(講談社学術文庫)

湯川秀樹 著

講談社

ニュートンから現代素粒子論まで、物理の世界はいかに創られてきたか。本書は「すでに創られた物理学」の概説ではなく、これから「創りだす物理学」をめざして語られた、湯川物理の真髄を伝えるユニークで興味深く、しかも格調高い名講義の全録である。

1977:10./ 218p

978-4-06-158195-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2016/11/27



日の鳥

こうの 史代 著

日本文芸社

突然いなくなった妻を捜して旅に出た雄鶏が見た、東日本の風景とは...。東日本大震災の記憶を、ぼおるぺんの優しいタッチで描く。『週刊漫画ゴラク』連載を単行本化。

2014:5./ 129p

978-4-537-26077-9

本体 ¥900+税



読売新聞 2016/11/27



日の鳥<2>

こうの 史代 著

日本文芸社

こうの史代氏がイラストと詩で東日本の姿を描くヒット作の第2弾。突然いなくなった妻を探して旅に出た雄鶏。彼女の思い出と東日本大震災後の各地の姿を重ねながら旅は続く。

2016:5./ 128p

978-4-537-26147-9

本体 ¥900+税



読売新聞 2016/11/27



ロレンスがいたアラビア<上>

スコット・アンダーソン 著

白水社

アラブ世界を舞台に暗躍した 4 人の諜報員の動きを追い、ロレンスを欧州とアラブの同時代人たちの中に位置づけた歴史大作!

読売新聞 2016/11/27

2016:9./ 403p 図版
16p

978-4-560-09243-9

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 2 4 3 9 *



ロレンスがいたアラビア<下>

スコット・アンダーソン 著

白水社

アラブ世界を舞台に暗躍した 4 人の諜報員の動きを追い、ロレンスを欧州とアラブの同時代人たちの中に位置づけた歴史大作!

読売新聞 2016/11/27

2016:9./ 326p,46p

978-4-560-09244-6

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 2 4 4 6 *



無理難題が多すぎる(文春文庫 つ11-23)

土屋 賢二 著

文藝春秋

週刊文春の好評連載エッセイ「ツチヤの口車」をまとめた一冊。「妻になる!」「老人の生きる道」など笑い渦巻く 60 篇。

読売新聞 2016/11/27

2016:9./ 222p

978-4-16-790704-4

本体 ¥590+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 7 0 4 4 *



サピエンス全史~文明の構造と人類の幸福~<上>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

国家、貨幣、企業……虚構が他人との協力を可能にし、文明をもたらした!ではその文明は、人類を幸福にしたのだろうか?現代世界を鋭くえぐる、40 カ国で刊行の世界的ベストセラー!

読売新聞 2016/11/27

2016:9./ 267p

978-4-309-22671-2

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 2 6 7 1 2 *



サピエンス全史~文明の構造と人類の幸福~<下>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

近代世界は帝国主義・科学技術・資本主義のフィードバック・ループによって、爆発的に進歩した!ホモ・サピエンスの過去、現在、未来を俯瞰するかつてないスケールの大著、ついに邦訳!

読売新聞 2016/11/27

2016:9./ 294p

978-4-309-22672-9

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 2 6 7 2 9 *



ぼくたちが越してきた日から そいつはそこにいた

河出書房新社

犬の名付けて、難しい!少年と大きな犬との触れあいを描いた名作。ゴリーがイラストを担当、多才な一面が見える絵本。

読売新聞 2016/11/27

2016:9./ 31p

978-4-309-27753-0

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 7 7 5 3 0 *



昭和8年～戦争への足音～

石黒 敬章 著

KADOKAWA

昭和8年、世界で何が起きていたのか。日本は国際連盟を脱退し世界から孤立。ドイツではヒトラーが政権をとり、アメリカではニューディール政策が開始された。国策通信会社の幻の写真を公開し、激動の時代を振り返る。

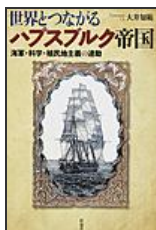
2016:9./ 125p

978-4-04-400185-8

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2016/11/27



世界とつながるハプスブルク帝国～海軍・科学・植民地主義の連動～

大井 知範 著

彩流社

ハプスブルク帝国に海軍はあったのか？ 19 世紀中葉、オーストリア海軍が実施した世界一周の航海事業「ノヴァラ号遠征」の陰に潜む植民地主義という問題を掘り起こし、批判的な視座から遠征の性格を位置づける。

2016:10./ 213p,97p

978-4-7791-2265-1

本体 ¥3,700+税



読売新聞 2016/11/27



関東一円古城址ハイキング～関八州つわものどもが夢のあと歩き～(新ハイキング選書 第37巻)

内田 栄一 著

新ハイキング社

戦国の御世、拔きでた男たちが持てる知力、体力、動員力、すべてを傾けて競い合った結果を生で確認。

2016:9./ 251p

978-4-915184-47-5

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/11/27



地鳴き、小鳥みたいな

保坂 和志 著

講談社

夏。K 先生の訃報。若い友人の死。20 代で出会ったある先生との忘れがたい対話。枯れて見えたその先生から聞かされた性欲をめぐる話が意外で…。記憶の体感を綴る4篇。『群像』他掲載を単行本化。

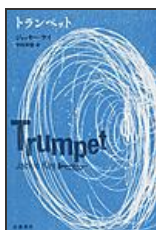
2016:10./ 216p

978-4-06-220287-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/11/27



トランペット

ジャッキー・ケイ 著

岩波書店

人気のトランペット奏者ジョス・ムーディが死んだ。遺体が露わにした驚愕の事実。マスコミは大騒ぎ。混乱する息子、追いこまれる妻。それぞれに辿り着いた<本当>の<彼>とは？ 恋と愛とセックスと音楽、そして家族の物語。

2016:10./ 295p

978-4-00-061155-8

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/11/27



これ、いったいどうやったら売れるんですか？～身近な疑問からはじめるマーケティング～(SB 新書 364)

永井 孝尚 著

SBクリエイティブ

身近な8つの疑問からマーケティングの基礎を学ぼう！会議でよく聞くあんな言葉、こんな言葉、すべてこの1冊でわかります！

2016:10./ 207p

978-4-7973-8895-4

本体 ¥800+税



読売新聞 2016/11/27



中国人の「財布の中身」～誰も知らない中国人の本当の経済力～(詩想社新書 14)

青樹 明子 著
詩想社

中国人はどこまで豊かになったのか?家計簿に見た日々の生活実態から、多様な金銭感覚、特有の格差、はびこる拝金主義、成金、大富豪の実態、最新の爆買い事情まで、謎に満ちた中国人の「財布の中身」を読み解く。

2016:9./ 267p
978-4-434-21940-5
本体 ¥920+税



読売新聞 2016/11/27



人生はいつもちぐはぐ(角川ソフィア文庫 L109-5)

鷺田 清一 著
KADOKAWA

生きていくうえで大事なことは、おとなの背中の中をのぞいてから伝わる!「おとなの背中」「幸福への問い」「語らいの作法」などを収録した、“思考の肺活量”を高める、鷺田清一の哲学エッセイ。

2016:10./ 291p
978-4-04-400183-4
本体 ¥840+税



読売新聞 2016/11/27



ブディスト・エコロジー～共生・環境・いのちの思想～

竹村 牧男 著
ノンブル社

科学技術の開発に余念のないわれわれの行き着く先は一体どこなのだろうか?自然環境を憂い、もしライフスタイルの転換を考えているならば、ぜひ本書を一読してほしい。仏教が説く「他者への限らない共感」は、いかに生きるかの道標になるう。

2016:10./ 312p
978-4-903470-98-6
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2016/11/27



じゃがいもデ版画～わたしの薯版画技法～

山室 眞二 著
求龍堂

じゃがいもを版材として使い、カッターと筆と水彩絵の具だけでできる、手軽な凸版の版画・じゃがいも版画。彫り方と刷り方、色版による多色刷りなどの手法を解説するほか、それぞれの手法を使った例題も収録する。

2016:11./ 86p
978-4-7630-1629-4
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/11/27



徒然草(角川ソフィア文庫)

吉田 兼好、角川書店 著
角川書店

日本の中世を代表する知の巨人・吉田兼好。その無常観とたゆみない求道精神に貫かれた名随筆集から、兼好の人となりや当時の人々のエピソードが味わえる代表的な章段を選び抜いた最良の徒然草入門。

2002:1./ 293p
978-4-04-357408-7
本体 ¥720+税



日本経済新聞 2016/11/06



進化しすぎた脳～中高生と語る〈大脳生理学〉の最前線～(ブルーバックス)

池谷 裕二 著
講談社

大脳生理学の最先端の知識を駆使して、記憶のメカニズムから、意識の問題まで中高生を相手に縦横無尽に語り尽くす。マスコミ各紙誌で絶賛を浴びた講義録。最新の脳科学の研究成果を紹介する追加講義も収録。

2007:1./ 397p
978-4-06-257538-6
本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2016/11/06



構造人類学

クロード・レヴィ・ストロース 著
みすず書房

本書は、未開社会の親族関係、社会組織、宗教、神話、芸術に構造分析の軌跡を具体的に例示した、構造主義人類学のマニフェストというべき画期的論文集。後半の諸章における人類学の方法と人類学教育の現状と未来についての考察も、きわめて示唆に富むものである。

日本経済新聞 2016/11/06

1972:5./ 488p
978-4-622-01971-8
本体 ¥6,600+税



人類学的思考(筑摩叢書 346)

山口昌男 著
筑摩書房
0

日本経済新聞 2016/11/06

1990:11./ 494p
978-4-480-01346-0
本体 ¥2,796+税



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部 良一 著
中央公論新社

大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとつての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

日本経済新聞 2016/11/06

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4
本体 ¥762+税



鯰絵～民俗の想像力の世界～(岩波文庫 白 227-1)

C.アウエハント 著
岩波書店

安政2年の江戸大地震直後に、ユーモアと風刺に富んだ多色摺りの鯰絵が大量に出回った。鯰絵とそこに書かれた詞書には世直しなど民衆の願望も表象されていた。日本文化の深層を構造主義的手法で読み解く。カラー図版多数収録。

日本経済新聞 2016/11/06

2013:6./ 601p,38p
978-4-00-342271-7
本体 ¥1,440+税



投機は経済を安定させるのか?～ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』を読み直す～(いま読む!名著)

伊藤 宣広 著
現代書館

ケインズ経済学の根底には投機の問題がある。マネーゲームの側面があまりに肥大化すると社会は不安定化する。彼の投機活動を追う。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:8./ 238p
978-4-7684-1008-0
本体 ¥2,200+税



シリコンバレーで起きている本当のこと

宮地 ゆう 著
朝日新聞出版

世界を変える企業が次々現れ巨万の富を生み出しつつも、所得格差や人種差別などの問題を抱える町シリコンバレー。シリコンバレーのさまざまな実態を多角的に追った最先端ルポ。『朝日新聞デジタル』の連載をもとに再構成。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:8./ 205p
978-4-02-251399-1
本体 ¥1,200+税





芝浜〜落語小説集〜

山本 一力 著
小学館

時代小説の第一人者が、「落語の人情世界」をノベライズ。夫婦の愛情を温かく描く「芝浜」、船場の商家を舞台にした「百年目」など、全 5 編を収録。『週刊ポスト』掲載に加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:9./ 253p

978-4-09-386449-7

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 0 9 3 8 6 4 4 9 7 *



むずかしい年ごろ

アンナ・スタロビネツ 著
河出書房新社

残酷で狂気に満ちた現代ロシアン・ホラー登場。双子の息子の異様な行動に怯えるシングルマザーの恐怖を描く衝撃の表題作ほか全 8 編。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:9./ 253p

978-4-309-20716-2

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 0 7 1 6 2 *



歌の子詩の子、折口信夫

持田 叙子 著
幻戯書房

日本近代文学運動とその相関図の中に折口を位置づけ、文学者としての折口が切り開いた、古代と近代を結ぶ試みを読み解く。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:9./ 259p

978-4-86488-107-4

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 4 8 8 1 0 7 4 *



欧州の危機〜Brexit ショック〜

庄司 克宏 著
東洋経済新報社

欧州債務危機、難民への対応、イギリスの離脱決定と、EU は極めて困難な状況に直面している。欧州統合の歴史を踏まえ、「2 速度式欧州」「アラカルト欧州」をキーワードとして、EU が抱える課題の行方を読み解く。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:9./ 254p

978-4-492-44435-1

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 4 9 2 4 4 4 3 5 1 *



大阪「映画」事始め(フィギュール彩 72)

武部 好伸 著
彩流社

映画はどんないきさつで海外から日本に導入され、どのようにして普及していったのか。そこに大阪の街と人がどう絡んでくるのか。荒木和一、稲畑勝太郎、山川吉太郎を中心に、大阪の街と人が映画に与えた影響について解説する。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 235p

978-4-7791-7077-5

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 7 9 1 7 0 7 7 5 *



デジタル・ゴールド〜ビットコイン、その知られざる物語〜

ナサニエル・ポッパー 著
日本経済新聞出版社

ブロックチェーンを生み出した謎の日本人、政府やウォール街に戦いを挑もうとした理想主義者、「デジタル・ゴールド」のポテンシャルに目を付けたシリコンバレーの起業家・投資家たち…。ビットコイン揺籃期の狂騒を描く。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:9./ 474p

978-4-532-17601-3

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 5 3 2 1 7 6 0 1 3 *



アフリカ希望の大陸～11億人のエネルギーと創造性～

ダヨ・オロパデ、松本 裕 著

英治出版

「シリコン・サハラ」の起業家たち、国よりも強い究極のシェア文化、超実践的な教育サービス、最先端の金融システム…。全米注目のジャーナリストが各国に足を運び、思い込みの向こうにあるリアルなアフリカ取材する。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:8./ 397p

978-4-86276-236-8

本体 ¥2,200+税



ヒラリーの野望～その半生から政策まで～(ちくま新書 1211)

三輪 裕範 著

筑摩書房

米国史上初の女性大統領誕生へ!ヒラリー・クリントンの栄光と挫折、思想、政治的展望を、ワシントン在住の著者が克明に描きだす。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 251p,2p

978-4-480-06921-4

本体 ¥820+税



なんでわざわざ中年体育

角田 光代 著

文藝春秋

中年たちは皆、運動を始める。フルマラソンに山登り・ボルダリング。人気作家が果敢に挑戦した爆笑と共感の傑作エッセイ集。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 262p

978-4-16-390535-8

本体 ¥1,400+税



「ひとり」の哲学(新潮選書)

山折 哲雄 著

新潮社

人はひとりで生まれ、ひとりで死ぬ。「孤独」と向き合うことで、より豊かな生を得ることができる。親鸞、道元、日蓮ら、先達の生き様を振り返り、「ひとりの覚悟」に光を当てる。『新潮 45』連載を改題、加筆修正し書籍化。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 237p

978-4-10-603793-1

本体 ¥1,300+税



本当に偉いのか～あまのじゃく偉人伝～(新潮新書 688)

小谷野 敦 著

新潮社

坂本竜馬は結局何をした? 評価が上げ底されがちな明治の偉人、今読んでもちっとも面白くない文豪、宗教の“教祖”まがいの学者……「裸の王様」をブツ斬る、目からウロコの新偉人伝!

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 221p

978-4-10-610688-0

本体 ¥740+税



ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン<上>(ハヤカワ文庫 SF 2098)

ピーター・トライアス 著

早川書房

第二次大戦で日独が勝利し、巨大メカが闊歩する日本統治下のアメリカで、石村は違法ゲーム「USA」を追う。衝撃の改変歴史SF

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 308p

978-4-15-012098-6

本体 ¥700+税





ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン<下>(ハヤカワ文庫 SF 2099)

ピーター・トライアス 著

早川書房

先の大戦で日独が負けた改変歴史世界を舞台とするゲームを開発し、アメリカ人抵抗組織に協力している六浦賀将軍。彼を追う石村大尉は、行く手を阻む敵メカを撃破し、抵抗組織の本拠地へ向かうのだが…。単行本も同時刊行。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 287p

978-4-15-012099-3

本体 ¥700+税



百人一首の正体(角川ソフィア文庫 D151-1)

吉海 直人 著

KADOKAWA

藤原定家が撰出したという通説は本当か。いつから「百人一首」と呼ばれるようになったのか。なぜこの百首が選ばれたのか。知っているようで知らなかった百人一首の真実を明らかにする。百首すべての見所と現代語訳も掲載。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 260p

978-4-04-400186-5

本体 ¥720+税



野心～郭台銘伝～

安田 峰俊 著

プレジデント社

シャープを買収した台湾企業・鴻海の創業者、郭台銘とは何者か。M&A を繰り返す鴻海と、自ら独裁を公言し、苛烈な発言を繰り返す郭台銘の半生から、シャープの行く末を占う。

日本経済新聞 2016/11/06

2016:10./ 319p

978-4-8334-5104-8

本体 ¥1,600+税



私はいったい、何と闘っているのか

つぶやきシロー 著

小学館

伊澤春男、45 歳。スーパー勤務。一見平凡な日常は、きょうも彼の脳内で戦場と化す。つぶやき芸の極北に行く著者が、七転八倒中年男のサバイバル人生劇場を描く。『きらら』掲載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2016/11/06、産経新聞 2016/11/27

2016:10./ 270p

978-4-09-386451-0

本体 ¥1,500+税



ラテンアメリカ文学入門～ボルヘス、ガルシア・マルケスから新世代の旗手まで～(中公新書 2404)

寺尾 隆吉 著

中央公論新社

1960?70 年代に旋風を巻き起こし、世界に強い衝撃をもたらしたラテンアメリカ文学。その潮流はどのように生まれ、どんな軌跡を辿ったのか。作家らの活動と作品はもとより、歴史、世相、出版社の販売戦略なども描き出す。

日本経済新聞 2016/11/06、朝日新聞 2016/11/20

2016:10./ 3p,227p

978-4-12-102404-6

本体 ¥780+税



ケアの倫理～ネオリベリズムへの反論～(文庫クセジュ 987)

ファビエンヌ・ブルジュール 著

白水社

「ケア」とは、人の傷付きやすさにかかわることである。競争社会の中での「ケアの行動」、社会的な絆の問題を提起する。

日本経済新聞 2016/11/13

2014:2./ 130p,6p

978-4-560-50987-6

本体 ¥1,200+税





家族難民～中流と下流一二極化する日本人の老後～(朝日文庫 や36-2)

山田 昌弘 著

朝日新聞出版

このままでは、年間 20 万人以上が孤立死する!?「パラサイト・シングル」「婚活」などの言葉で社会動向を先取りしてきた社会学者が、未婚化・単身化が進む日本の未来に警鐘をならす。久保田裕之との対談も収録。

2016:2./ 231p

978-4-02-261847-4

本体 ¥640+税



日本経済新聞 2016/11/13



未婚当然時代～シングルたちの“絆”のゆくえ～(ポプラ新書 090)

にらさわ あきこ 著

ポプラ社

結婚したい人が結婚に至るにはなにをすればいいか、結婚しない場合の“絆”にはどのようなものがあるか。未婚者が増えた背景を探り、葛藤する男女の迷い、本音、現実に迫る。『WEDGE Infinity』連載を加筆修正。

2016:4./ 239p

978-4-591-14994-2

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2016/11/13



君たちが知っておくべきこと～未来のエリートとの対話～

佐藤 優 著

新潮社

超難関高校生たちに伝授する世界基準の勉強法、知識の使い途、そして人生哲学。誰も教えなかった〈エリート帝王学〉講義を完全収録!

2016:7./ 234p

978-4-10-475210-2

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2016/11/13



日本震災史～復旧から復興への歩み～(ちくま新書 1210)

北原 糸子 著

筑摩書房

震災は日本社会をいかに作り替えてきたのか。有史以来、明治までの震災の復旧・復興史に焦点を当て、災害対策の歩みを明らかにする。

2016:9./ 334p

978-4-480-06916-0

本体 ¥980+税



日本経済新聞 2016/11/13



発展するアジアの政治・経済・法～法は政治・経済のために何ができるか～

松尾 弘 著

日本評論社

1980～90 年代の「東アジアの奇跡」後、アジア諸国で広く進む高度経済成長において、法は政治・経済のために何ができるのか。

2016:9./ 11p,274p

978-4-535-52214-5

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2016/11/13



修行と信仰～変わるからだ変わるころ～(岩波現代全書 094)

藤田 庄市 著

岩波書店

修行をして到達した境地とはいかなるものなのだろうか? 神道・仏教から教派神道まで、宗派を問わず信仰の現場におもむいて荒行に参加する体験を通して、日本人にとっての「聖なるもの」のありかを追求する。

2016:9./ 10p,271p

978-4-00-029194-1

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2016/11/13



生命、エネルギー、進化

ニック・レーン 著

みすず書房

生命誕生から真核生物と有性生殖が登場するまでの「生物学のブラックホール」のプロセスを、化学反応とエネルギー論の観点から具体的に描出。生命の起源・複雑化・性・死といった難題を統一的に解釈する。

2016:9./ 343p,51p

978-4-622-08534-8

本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2016/11/13



イスラーム国の黒旗のもとに～新たなるジハード主義の展開と深層～

サーミー・ムバイヤド、高尾 賢一郎、福永 浩一 著

青土社

世界各地に恐怖を振りまく「イスラーム国」の徹底した行動原理はいかにして生まれ、人々に広まっていったのか。カリフ制国家を形成した歴史・思想・人物を、オスマン帝国時代に遡る視野と、当事者たちの証言をもとに描き出す。

2016:9./ 345p,5p

978-4-7917-6946-9

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2016/11/13



ザ会社改造～340 人からグローバル 1 万人企業へ～

三枝 匡 著

日本経済新聞出版社

12 年間にわたり仕掛けてきた数々の改革が、「事業モデル」の革新を引き起こした。いかにして失敗と成功の壁をよじ登り、「会社改造」と呼べるほど、組織を違う生きものに变身させていったか。現役経営者が綴る改革のドラマ。

2016:9./ 440p

978-4-532-32097-3

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/11/13



ユーラシアニズム～ロシア新ナショナリズムの台頭～

チャールズ・クローヴァー 著

NHK出版

2014 年のウクライナ危機以降、プーチン政権の真の狙いは一体どこにあるのか? 「ユーラシア連合」の構想は何をを目指すのか? 百年前から密かに受け継がれてきたロシア独自の地政学的イデオロギーの実態を解明する。

2016:9./ 545p,28p,1p

978-4-14-081706-3

本体 ¥3,300+税



日本経済新聞 2016/11/13



迷走するイギリス～EU 離脱と欧州の危機～

細谷 雄一 著

慶應義塾大学出版会

これから孤高の道を歩むイギリスがめざす方向は? また連合王国としてのイギリスは解体に向かうのか? イギリス外交史の第一人者が“EU 離脱”までの深層と、分裂に揺れるイギリスを読み解く。

2016:9./ 2p,213p

978-4-7664-2373-0

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/11/13



「アウンサンスーチー政権」のミャンマー～民主化の行方と新たな発展モデル～

永井 浩、田辺 寿夫、根本 敬 著

明石書店

アウンサンスーチーに象徴される国、ミャンマー(ビルマ)。この国はいま、新たな国づくりに向けて、どのような歩みを続けているのか。その答えを、研究者とジャーナリストがそれぞれの強みを生かしながら多面的に示す。

2016:10./ 248p

978-4-7503-4407-2

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/11/13



トヨトミの野望～小説・巨大自動車企業～

梶山 三郎 著

講談社

失われた 20 年を高度成長期のように駆け抜けた巨大自動車企業は、日本経済最後の砦。気鋭の経済記者が覆面作家となって、メディア禁制・28 兆円のタブーに挑む!

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 381p

978-4-06-219607-9

本体 ¥1,700+税



知られざる皇室外交(角川新書 K-103)

西川 恵 著

KADOKAWA

1953 年、19 歳だった明仁皇太子はヨーロッパ各国を訪れた。大戦の遺恨が残るなかで何を感じたのか。そこから続くイギリス、オランダなどとの交流、慰霊の旅を続ける理由など、知られざる姿を明らかにする。

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 303p

978-4-04-082087-3

本体 ¥800+税



風と雲のことば辞典(講談社学術文庫 2391)

岡田 憲治、原田 稔、宇田川 真人 著

講談社

古語・漢語・方言・気象用語を含む日本語の中から、現代生活に生きている「風」と「雲」にまつわることばを選び、語釈・解説、適宜用例も付して 50 音順に配列。巻末に天気予知のことわざ、季語索引を付録。

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 370p

978-4-06-292391-0

本体 ¥1,170+税



黒い巨塔～最高裁判所～

瀬木 比呂志 著

講談社

最高裁長官の須田は、頻発する原発訴訟で電力会社に有利な判決を出すよう、裁判官たちを強引にあやつる。誰一人逆らえない中、民事局付の笹原は、図らずも須田と対峙する道を選び…。元裁判官が描く本格的権力小説。

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 390p

978-4-06-220352-4

本体 ¥1,600+税



慈雨

柚月 裕子 著

集英社

16 年前の少女殺害と酷似した事件が発生。かつて刑事として捜査にあたった神場は、退職した身で現在の事件を追い始める。消せない罪悪感を抱えながら。元警察官の魂の彷徨を描く傑作ミステリー。

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 330p

978-4-08-771670-2

本体 ¥1,600+税



世界経済まさかの時代(日経プレミアシリーズ 322)

滝田 洋一 著

日本経済新聞出版社

Brexit(英 EU 離脱)で再びくすぶる欧州銀行危機。尖閣諸島に押し寄せる中国漁船。黒田緩和とヘリコプターマネーの分かれ目…。「まさかの事態」が次々と発生する世界を、日経編集委員が読み解く。

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 220p

978-4-532-26322-5

本体 ¥850+税





使用人たちが見たホワイトハウス～世界一有名な「家」の知られざる裏側～

ケイト・アンダーセン・ブラウワー 著

光文社

ホワイトハウスの中はどうなっている?大統領一家と使用人たちの強固な信頼関係の秘密とは?執事、ドアマン、シェフ…。ケネディ～オバマのアメリカ歴代大統領に仕えた数多くのスタッフが、ホワイトハウスの真の姿を語る。

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 445p 図版
16p

978-4-334-97894-5

本体 ¥2,000+税



熱狂～週刊プレイボーイ創刊 50 周年記念出版～(集英社ムック)

集英社 著

集英社

時代を“熱狂”させた女と男の 50 年。歴史に刻まれるべき、愛と欲望の記録。1966 年 10 月 28 日に創刊された『週刊プレイボーイ』が 50 周年という大きな節目を迎えます。これを記念し、50 年分の誌面を総ざらいした記念本を制作。

日本経済新聞 2016/11/13

2016:10./ 320p

978-4-08-102224-3

本体 ¥1,800+税



ショパン・コンクール～最高峰の舞台を読み解く～(中公新書 2395)

青柳 いづみこ 著

中央公論新社

5 年に一度開催されるショパン・コンクール。その歴史を俯瞰しつつ 2015 年大会の様相を現地からレポート。客観的な審査基準がない芸術をどう評価するか、日本人優勝者は現れるのか。コンクールを通して音楽界の未来を占う。

日本経済新聞 2016/11/13、産経新聞 2016/11/20

2016:9./ 10p,262p

978-4-12-102395-7

本体 ¥880+税



60 年代ポップ少年

亀和田 武 著

小学館

1960 年代。私は勉強もせずに、ポップなものだけを追い求めた。60 年代を教科書的に叙述した文化史や社会史とはまったく異なるアプローチで、12 歳から 22 歳までのことをつづる。『本の窓』連載を大幅に加筆・修正。

日本経済新聞 2016/11/13、朝日新聞 2016/11/20

2016:10./ 316p

978-4-09-388471-6

本体 ¥1,650+税



マッキンゼー組織の進化～自立する個人と開かれた組織～(The McKinsey anthology)

平野 正雄、村井 章子 著

ダイヤモンド社

個人と組織の新たな関係づくりに向けて、「気づき」を起点とした企業変革、部門を越える「機会」志向型組織、経営トップのチームワークほか、マッキンゼー・マーケティング・グループ発の論考を集める。

日本経済新聞 2016/11/20

2003:11./ 206p

978-4-478-43021-7

本体 ¥2,000+税



宇宙はなぜ美しいのか～科学と感受性～

キース・J.レイドラー 著

青土社

ビッグバン、二重らせん、進化論?。宇宙の壮大な仕組みが明快に解き明かされる、現代科学の華麗なページェント。どのようにして膨大・複雑な天然自然は、単純明快な数式の結晶と化し理解されたのか。宇宙の驚異を科学する。

日本経済新聞 2016/11/20

2005:7./ 339p,25p

978-4-7917-6205-7

本体 ¥2,600+税





蒼き狼 改版(新潮文庫 い-7-13)

井上 靖 著

新潮社

世界史上未曾有の英雄、成吉思汗即位八百年!遊牧民の一部族の首長の子として生れた鉄木真=成吉思汗(テムジン=チンギスカン)は、他民族と激しい闘争をくり返しなが、やがて全蒙古を統一し、ヨーロッパにまで及ぶ遠征を企てる。

日本経済新聞 2016/11/20

2006:9./ 449p

978-4-10-106313-3

本体 ¥710+税



図説大航海時代(ふくろうの本)

増田 義郎 著

河出書房新社

アジアとヨーロッパをつなぎ、ダイナミックな世界図を描き出した大航海時代。その始まりや、近代の世界史にどのようなインパクトを与えたかを、グローバルな視点に基づき、豊富な写真を交えて考察する。

日本経済新聞 2016/11/20

2008:9./ 111p

978-4-309-76111-4

本体 ¥1,800+税



生命のパズル～宇宙、自然、そして人間を動かす根本原理とは～

岡山 嘉彦 著

PHPパブリッシング

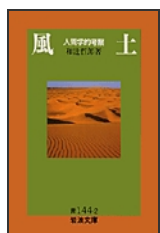
「偶然」と「必然」は補完しあいながら、あらゆる物事を動かしている。その「偶必システム」を理解すると、霧が晴れたようにすべてのことが見えてくる。世界の成り立ちと「成功の原理」を論理的かつ根本的に解説する。

日本経済新聞 2016/11/20

2008:11./ 221p

978-4-904302-14-9

本体 ¥1,300+税



風土～人間学的考察～(岩波文庫 青 144-2)

和辻哲郎 著

岩波書店

風土とは単なる自然環境ではなくして、人間の精神構造の中に刻みこまれた自己了解の仕方に他ならない。こうした観点から著者はモンスーン・沙漠・牧場という風土の三類型を設定し、日本をはじめ世界各地の民族・文化・社会の特質を見事に浮彫りにした。

日本経済新聞 2016/11/20

1979:5./ 299p

978-4-00-331442-5

本体 ¥960+税



未来への決断～大転換期のサバイバル・マニュアル～

ピーター・ファーディナンド・ドラッカー、上田惇生 著

ダイヤモンド社

0

日本経済新聞 2016/11/20

1995:9./ 391p

978-4-478-37164-0

本体 ¥2,427+税



文明の生態史観 改版(中公文庫)

梅棹 忠夫 著

中央公論社

東と西、アジア対ヨーロッパという、慣習的な座標軸のなかに捉えられてきた世界史に革新的な新視点を導入した比較文明論の名著。

日本経済新聞 2016/11/20

1998:1./ 349p

978-4-12-203037-4

本体 ¥743+税





宇宙は本当にひとつなのか～最新宇宙論入門～(ブルーバックス B-1731)

村山 斉 著

講談社

宇宙創生のカギをにぎる暗黒物質や暗黒エネルギー、そして宇宙とはいったいどのような姿をしているのかについて語るとともに、最近のトピックスをおりまぜながら、宇宙とは何かを考える。

2011:7./ 201p

978-4-06-257731-1

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2016/11/20



21 世紀の資本

トマ・ピケティ 著

みすず書房

民間財産に基づく市場経済は、放置するなら、強力な収斂の力を持っている。だが一方で、格差拡大の強力な力もそこにはある。18 世紀以来の富と所得の分配動学をめぐる歴史的知識の現状を明らかにし、今後の教訓を示す。

2014:12./

15p,608p,98p

978-4-622-07876-0

本体 ¥5,500+税



日本経済新聞 2016/11/20



ママがやった

井上 荒野 著

文藝春秋

ママはいいわよべつに、刑務所に入ったって 小料理屋の女主人百々子七九歳と若い頃から女が切れない奇妙な魅力をもった七つ年下の夫。半世紀連れ添った男を何故妻は殺したのか。

2016:1./ 171p

978-4-16-390375-0

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/11/20



結婚(角川文庫 い 73-2)

井上 荒野 著

KADOKAWA

結婚願望を捨てきれない女、現状に満足しない女に巧みに入り込む結婚詐欺師・古海。だが、彼の心にも埋められない闇があった……父・井上光晴の同名小説にオマージュを捧げる長編小説。

2016:1./ 222p

978-4-04-103808-6

本体 ¥600+税



日本経済新聞 2016/11/20



IoT とは何か～技術革新から社会革新へ～(角川新書 K-74)

坂村 健 著

KADOKAWA

「IoT=モノのインターネット」とは何か。何のための技術であり、何が実現し、わたしたちの社会や生活は一体どう変わるのか。豊富な実例をあげつつ、その現状・課題・未来像と、日本への指針を示す。

2016:3./ 239p

978-4-04-082058-3

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2016/11/20



それでも、日本人は「戦争」を選んだ(新潮文庫 か-77-1)

加藤 陽子 著

新潮社

普通によき日本人が、世界最高の頭脳たちが、「もう戦争しかない」と思ったのはなぜか? 日清戦争から太平洋戦争まで、戦争の根源的な特徴、戦争が地域秩序や国家や社会に与えた影響と変化などを、中高生への講義を元に解説。

2016:7./ 497p

978-4-10-120496-3

本体 ¥750+税



日本経済新聞 2016/11/20



子どもとお金～おこづかいの文化発達心理学～

山本 登志哉 編

東京大学出版会

共同の買い食いや「おごり」の是非など、「おこづかい」にまつわる行動文化についての日・韓・中・越の共同調査研究の成果。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 8p,325p

978-4-13-051334-0

本体 ¥4,800+税



宗教・地政学から読むロシア～「第三のローマ」をめざすプーチン～

下斗米 伸夫 著

日本経済新聞出版社

いま起きているのは「新冷戦」ではない。世界政治の最大の焦点は宗教だ！ ウクライナ危機の深層、現代ロシアと宗教との関係、国際秩序の変容を、文明論、歴史的視点から解き明かす。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:9./ 385p

978-4-532-17603-7

本体 ¥2,800+税



それも一局～弟子たちが語る「木谷道場」のおしえ～

内藤 由起子 著

水曜社

プロ棋士 53 人を育て上げた昭和を代表する大棋士・木谷實。自宅の「木谷道場」で、木谷はどのように内弟子たちを指導し、育てたのか。道場の近所で生まれ育った囲碁観戦記者が、木谷道場の足跡を綴る。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 240p

978-4-88065-396-9

本体 ¥1,600+税



作られた不平等～日本、中国、アメリカ、そしてヨーロッパ～

ロベール・ボワイエ、山田 鋭夫、横田 宏樹 著

藤原書店

ピケティ「21 世紀の資本」の不平等論における貢献と限界を示し、不平等論へのレギュレーション的アプローチの可能性を提示。体系的・歴史的な“日本の不平等分析”も収録し、不平等の縮小に向けた政策を提案する。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:9./ 324p

978-4-86578-087-1

本体 ¥3,000+税



貧困なき世界～途上国初の世銀チーフ・エコノミストの挑戦～

ジャスティン・リン、小浜 裕久 著

東洋経済新報社

市場原理主義を振りかざすだけでは貧困はなくなる。限られた資源と政府しかない国がどうやって貧困を削減するのかを解き明かす。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./

27p,309p,32p

978-4-492-44433-7

本体 ¥3,400+税



犯罪・捜査・メディア～19 世紀フランスの治安と文化～(叢書・ユニベルシタス 1049)

ドミニク・カリファ 著

法政大学出版局

19 世紀フランスにおいて、秩序を脅かす犯罪者、公権力を担う警察、そして両者のイメージを創造したジャーナリズムは、民主主義社会の治安の危機をいかに映し出したか。犯罪に関わる文学的表象や社会防衛の言説史を分析する。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 7p,296p,52p

978-4-588-01049-1

本体 ¥4,000+税





井伊直虎～女領主・山の民・悪党～(講談社現代新書 2394)

夏目 琢史 著

講談社

戦国の世、なぜ女性が領主となったのか? なぜ近世期、彼女は忘れ去られたのか? 「女性」「山の民」「悪党」をキーワードに、時代の転換期を生きた女城主・井伊直虎の宿命を描く。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 202p

978-4-06-288394-8

本体 ¥760+税



Finish Big～起業家たちへの、悔いなき出処進退のためのアドバイス～

ボー・バーリングガム、出張 勝也、上原 裕美子 著

アメリカン・ブック&シネマ

起業家が身を引くまでのプロセスには実に多くの要素がかかわってくる。良いエグジットを迎えたオーナーたちは、去るべき日を迎えるためにどんな備えをしていたのか。彼らに共通する8つの特徴を紹介する。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:9./ 414p

978-4-903825-10-6

本体 ¥2,500+税



可能なる革命(at プラス叢書 15)

大澤 真幸 著

太田出版

私たちがほんとうは引き起こしたいこと、無意識のうちに求めている変化を「革命」という言葉で表現し、革命は可能なのか、可能だとしたらいかにしてかを考える。『at プラス』連載をもとに単行本化。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 427p

978-4-7783-1534-4

本体 ¥2,300+税



EU 分裂と世界経済危機～イギリス離脱は何をもたらすか～(NHK 出版新書 498)

伊藤 さゆり 著

NHK出版

2016年6月、英国の有権者はEUからの離脱を選択した。EUはこのまま分裂してしまうのか?リーマン・ショックのような危機は再来するのか?欧州経済に通じる専門家が、危機の深層と世界経済のこれからを見通す。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 215p

978-4-14-088498-0

本体 ¥740+税



スポーツのちから～地域をかえるソーシャルイノベーションの実践～

松橋 崇史、金子 郁容、村林 裕 著

慶應義塾大学出版会

活気のあるまちには理由がある スポーツで人と人がつながれば、大きな「ちから」が生まれる。全国各地の成功事例から豊かなまちをつくるための考え方と方法を示す!

日本経済新聞 2016/11/20

2016:10./ 5p,201p

978-4-7664-2372-3

本体 ¥2,400+税



ダウン・ザ・ハイウェイ～ボブ・ディランの生涯～

ハワード・スーンズ、菅野 ヘッケル 著

河出書房新社

アメリカが生んだもっとも偉大なアーティストのひとり、ボブ・ディラン。音楽に関する裏話、入り組んだ恋愛関係、私生活、ビジネス…。徹底した取材と調査をもとに、ボブ・ディランの多くの謎と秘密を解き明かす。

日本経済新聞 2016/11/20

2016:11./ 477p

978-4-309-27792-9

本体 ¥3,700+税





文明の海洋史観(中公文庫 か 58-2)

川勝 平太 著

中央公論新社

近代はアジアの海から誕生した。農業社会から工業社会への移行という「陸地史観」の常識に挑戦し、海洋アジアを近代の発生源とする「海洋史観」を提唱。太平洋文明の時代に日本の進むべき道を提示する。

2016:11./ 356p

978-4-12-206321-1

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2016/11/20



オはオオタカのオ

ヘレン・マクドナルド 著

白水社

愛する父の突然の死。喪失のさなか「私」はオオタカを手に入れたーサミュエル・ジョンソン賞とコスタ賞に輝いた感動のメモワール。

2016:9./ 370p

978-4-560-09509-6

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2016/11/20、朝日新聞 2016/11/27



最後の「天朝」～毛沢東・金日成時代の中国と北朝鮮～<上>

沈 志華、朱 建栄 著

岩波書店

「血で結ばれた同盟」という神話を破壊する書。中国・ロシアの未公開資料に基づき、長らくベールに包まれてきた中朝関係の秘史を明らかにする。上は、中朝共産主義者の関係前史、1945?1956 年のできごとなどを収録。

2016:9./ 11p,284p,55p

978-4-00-023066-7

本体 ¥5,800+税



日本経済新聞 2016/11/20、東京・中日新聞 2016/11/27



最後の「天朝」～毛沢東・金日成時代の中国と北朝鮮～<下>

沈 志華、朱 建栄 著

岩波書店

「血で結ばれた同盟」という神話を破壊する書。中国・ロシアの未公開資料に基づき、長らくベールに包まれてきた中朝関係の秘史を明らかにする。下は、1956?1976 年のできごと、中朝関係の歴史的位置づけなどを収録。

2016:9./ 11p,273p,83p

978-4-00-023067-4

本体 ¥5,800+税



日本経済新聞 2016/11/20、東京・中日新聞 2016/11/27



経済学私小説<定常>の中の豊かさ

齊藤 誠 著

日経BP社

<夜がけつて訪れることのない黄昏>の豊穡さとは。<失われた 20 年>と<15 年デフレ>という迷妄を「実証」で吹き飛ばす。経済学と小説の<新結合>による渾身の日本経済論。

2016:1./ 461p

978-4-8222-5102-4

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2016/11/27



はじめての人のための 3000 円投資生活

横山 光昭 著

アスコム

投資経験がゼロでも、貯金がなくても、誰でもカンタンに始められてお金がしっかり増えていく!家計再生コンサルタントが「人生を変える」お金の増やし方を解き明かす。

2016:7./ 223p

978-4-7762-0911-9

本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2016/11/27



ぜんぶ落語の話

矢野 誠一 著

白水社

噺家のさまざまな物語を中心に、戦争前後の落語界の変遷、演劇や俳句との関係などを重層的に織りなす、通をも唸らせる高質エッセイ。

日本経済新聞 2016/11/27

2016:9./ 238p

978-4-560-09520-1

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 5 2 0 1 *



セカンドハンドの時代～「赤い国」を生きた人びと～

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著

岩波書店

ソ連共産主義下の暮らしを生きてきた人間の声をつづる。21 世紀に頭をもたげる抑圧的な国家像をとらえたインタビュー集。「戦争は女の顔をしていない」などに続く、「ユートピアの声」シリーズ 5 部作完結。

日本経済新聞 2016/11/27

2016:9./ 7p,606p,15p

978-4-00-061151-0

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 0 0 0 6 1 1 5 1 0 *



青春放浪から格差の経済学へ(シリーズ「自伝」my life my world)

橋本 俊詔 著

ミネルヴァ書房

格差社会論や労働問題の第一人者として知られる経済学者・橋本俊詔が語った、旺盛な研究・執筆活動の源泉。少年時代から青春時代にかけての「放浪」、そして研究者としては決して本流を歩んでこなかった足跡をたどる。

日本経済新聞 2016/11/27

2016:8./ 14p,331p,41p

978-4-623-07690-1

本体 ¥3,500+税



* 9 7 8 4 6 2 3 0 7 6 9 0 1 *



紫禁城の月～大清相国 清の宰相陳廷敬～<下>

王 躍文 著

メディア総合研究所

劉備のような王朝の始祖でもなければ、項羽のような英雄豪傑でもない。清の“賢帝”康熙帝を育て、浮沈を経験しながら魑魅魍魎の跋扈する官界を生き抜き、宰相にまでのぼりつめた男の物語。

日本経済新聞 2016/11/27

2016:9./ 408p

978-4-944124-75-6

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 9 4 4 1 2 4 7 5 6 *



紫禁城の月～大清相国 清の宰相陳廷敬～<上>

王 躍文 著

メディア総合研究所

劉備のような王朝の始祖でもなければ、項羽のような英雄豪傑でもない。清の“賢帝”康熙帝を育て、浮沈を経験しながら魑魅魍魎の跋扈する官界を生き抜き、宰相にまでのぼりつめた男の物語。

日本経済新聞 2016/11/27

2016:9./ 442p

978-4-944124-74-9

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 9 4 4 1 2 4 7 4 9 *



交わらないから面白い日韓の常識(祥伝社新書 480)

前川 恵司 著

祥伝社

国交正常化 50 年を経ても、韓国との溝は未だ埋まらない。元朝日新聞ソウル特派員が、日韓の違いを学校教育、食文化、旅文化といった身近な事柄から探り、消えない「反日感情」の秘密に迫る。

日本経済新聞 2016/11/27

2016:9./ 290p

978-4-396-11480-0

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 3 9 6 1 1 4 8 0 0 *



人口と日本経済～長寿、イノベーション、経済成長～(中公新書 2388)

吉川 洋 著

中央公論新社

人口減少が進む日本。財政赤字は拡大の一途をたどっているが、「日本の衰退は不可避」との思い込みに対し、経済学は「否」と答える。日本に蔓延する「人口減少ペシミズム(悲観論)」を排し、日本経済の本当の課題に迫る。

2016:8./ 3p,198p

978-4-12-102388-9

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2016/11/27



人材覚醒経済

鶴 光太郎 著

日本経済新聞出版社

一億総活躍、同一労働同一賃金、性格スキル…。働き方だけで日本は変わる! 成長のアキレス腱となった無限定正社員システム。その問題点を解決できるのはジョブ型正社員だけ。実力派経済学者が労働改革の具体策を提示する。

2016:9./ 311p

978-4-532-35702-3

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2016/11/27



待つ女

マリー・ダリュセック、高頭 麻子 著

藤原書店

恋に落ちた黒人俳優と白人女優。男は植民地時代のアフリカを描く作品を映画化するという野望を抱き、現地ロケへと旅立つ。男を追ってカメルーンに向かった女の切ない恋のゆくえは…。古典的にして新しい恋愛小説。

2016:9./ 269p

978-4-86578-088-8

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/11/27



非伝統的金融政策～政策当事者としての視点～

宮尾 龍蔵 著

有斐閣

非伝統的金融政策の効果はあるのか? 日銀の政策委員会メンバーだった著者が、その経験を踏まえながら、経済学のさまざまな知見をベースに、非伝統的金融政策をめぐる主要な論争点を検討し、その特徴と課題を平易に解説する。

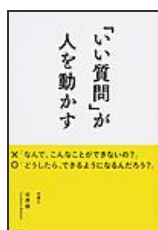
2016:10./ 8p,244p

978-4-641-16490-1

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2016/11/27



『いい質問』が人を動かす

谷原 誠 著

文響社

人を動かすには、命令してはいけません。質問をすることです-。「いい質問」に人は必ず反応する。気鋭の弁護士が実際に使っている、取引先、部下、夫婦、嫌いな人など、全ての人間関係に役立つ究極の質問術を伝授。

2016:10./ 277p

978-4-905073-49-9

本体 ¥1,480+税



日本経済新聞 2016/11/27



世界天才紀行～ソクラテスからスティーブ・ジョブズまで～

エリック・ワイナー 著

早川書房

ダ・ヴィンチ、モーツァルト、ジョブズ……。天才たちがとある時代のとある場所に集団で現れるのはなぜか? ベストセラー『世界しあわせ紀行』の著者が七都市を巡り考える。ヤマザキマリ氏推薦。

2016:10./ 446p

978-4-15-209645-6

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2016/11/27



流しの公務員の冒険～霞が関から現場への旅～

山田 朝夫 著

時事通信出版局

「流しの公務員」になることを目指して現場に飛び出した元官僚の「仕事をめぐる冒険」の旅の記録。「死人病院」と陰口をたたかれた市民病院の再生、霞が関での日々などを綴り、「仕事とは何か?」について考える。

2016:11./ 292p

978-4-7887-1492-2

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/11/27



応仁の乱～戦国時代を生んだ大乱～(中公新書 2401)

呉座 勇一 著

中央公論新社

室町後期、諸大名が東西両軍に分かれ、京都市街を主戦場として戦った応仁の乱。なぜ勃発し、どう終結に至ったか。長期化した理由とは。高い知名度とは対照的に、実態は十分知られていない日本史上屈指の大乱を読み解く。

2016:10./ 8p,302p

978-4-12-102401-5

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2016/11/27



科学者が書いたワインの秘密～身体にやさしいワイン学～(PHP 文庫 し 63-1)

清水 健一 著

PHP研究所

様々な情報が氾濫する「ワインと健康」。でも本当のところは? 科学者であり愛飲歴 40 年の著者が、身体にいい選び方・愉しみ方を紹介!

2016:11./ 242p

978-4-569-76635-5

本体 ¥660+税



日本経済新聞 2016/11/27



奇跡の?～陸前高田の老舗?油蔵八木澤商店再生の物語～

竹内 早希子 著

祥伝社

陸前高田の老舗?油蔵八木澤商店は、東日本大震災の津波で、土蔵や杉桶、そして?油屋の命である「もろみ」を失った。九代目の河野通洋、八木澤商店の社員たち、陸前高田の人々の苦闘を、緻密な取材で描くノンフィクション。

2016:10./ 284p

978-4-396-61584-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2016/11/27



優しい街

新野 剛志 著

双葉社

ある男から娘を捜してほしいと連絡が入る。上京中、友人に会うと言って出かけたきり戻ってこないという。探偵の“私”は捜索を始めるが、そこで目にしたのは複雑に絡み合う人間たちの別世界で…。『小説推理』連載を単行本化。

2016:10./ 371p

978-4-575-23991-1

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/11/05



壁の男

貫井 徳郎 著

文藝春秋

北関東の小さな集落で、家々の壁に描かれた子供の落書きのような奇妙な絵。決して上手ではないが、鮮やかで力強い絵を描き続ける寡黙な男に、ノンフィクションライターは取材を試みるが…。『オール讀物』連載を単行本化。

2016:10./ 348p

978-4-16-390552-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/11/05、産経新聞 2016/11/13



魔法の庭(ちくま文庫)

イタロ・カルヴィーノ 著

筑摩書房

アルプスの自然を背景にどこか奇妙な、青年警官、若い犯罪者、無能の猟師など、大人社会のいわゆる“異物”をユーモラスに描いた 11 編を収める。

毎日新聞 2016/11/06

2007:8./ 201p

978-4-480-42351-1

本体 ¥720+税



世界を変えるデザイン～ものづくりには夢がある～

シンシア・スミス、槌屋 詩野、北村 陽子 著

英治出版

シンプルでデザインで人々の生活を大きく変えるものを集めた、2007 年開催の「残りの 90%のためのデザイン」展の記録。多種多様な展示品や先駆的なプロジェクトの事例を紹介するほか、デザイン革命についても触れる。

毎日新聞 2016/11/06

2009:10./ 253p

978-4-86276-058-6

本体 ¥2,000+税



森の生活～ウォールデン～<上>(岩波文庫 赤 307-1)

H.D.ソロー、飯田 実 著

岩波書店

0

毎日新聞 2016/11/06

1995:9./ 330p

978-4-00-323071-8

本体 ¥780+税



ハックルベリイ・フィンの冒険 改版(新潮文庫)

マーク・トウェイン、村岡 花子 著

新潮社

トムとの冒険で大金持になった浮浪児ハックは、未亡人の家に引きとられて教育を受けることになった。固苦しい束縛の毎日ー飲んだくれの父親が金をせびりに現われるに及んで、逃亡奴隷の黒人ジムとハックの脱出行が始まった。

毎日新聞 2016/11/06

1959:3./ 460p

978-4-10-210602-0

本体 ¥670+税



森の生活～ウォールデン～<下>(岩波文庫 赤 307-2)

H. D. ソロー、飯田 実 著

岩波書店

0

毎日新聞 2016/11/06

1995:9./ 335p

978-4-00-323072-5

本体 ¥840+税



白楽天詩集(平凡社ライブラリー)

白 楽天 著

平凡社

名作長篇「長恨歌」「琵琶行」、愛誦される閑適詩、そして激しい社会批判の諷諭詩など、唐代の大詩人の全貌を示す 120 余篇。平易、正確、風雅な、全行かながきの稀代の名訳。

毎日新聞 2016/11/06

1998:8./ 419p

978-4-582-76258-7

本体 ¥1,300+税





デザインと犯罪

ハル・フォスター、五十嵐 光二 著

平凡社

絵画中心の芸術が占めていた位置を建築とデザインが奪取した現状を前に批評言説の無効ばかりが露呈する中、必要な批評の可能性を明示する。デザインの論理/倫理を剔抉する射程の大きな原理的省察。

2011:7./ 267p

978-4-582-70281-1

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/11/06



読書について(光文社古典新訳文庫 KBシ 1-1)

ショーペンハウアー 著

光文社

なにを、どう読むか。あるいは読まずにすませるか。読書の達人であり一流の文章家だった哲学者・ショーペンハウアーが、痛烈かつ辛辣なアフォリズムを交えて紹介する知的読書法。

2013:5./ 194p

978-4-334-75271-2

本体 ¥743+税



毎日新聞 2016/11/06



日本人の肖像

葉室 麟、矢部 明洋 著

講談社

歴史時代小説の最前線をゆく直木賞作家が、浪漫あふれる「この国のかたち」を見つめ直す。歴史人物を語った史談集と、各分野の専門家との対談集を収録する。『毎日新聞』連載を一部加筆修正し単行本化。

2016:8./ 219p

978-4-06-220113-1

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/11/06



過去をもつ人

荒川 洋治 著

みすず書房

過ぎ去ったものが厚みをまし、世界をつくりつづける。過去の新しい見方、読み方も必要になるのだろう…。新聞などに発表されたエッセイの中から、読書にかかわる 61 編を選び、書き下ろし「銅のしずく」を加えて単行本化。

2016:7./ 227p

978-4-622-08520-1

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2016/11/06



世界の名作を読む～海外文学講義～(角川ソフィア文庫 C152-1)

工藤 庸子、池内 紀、柴田 元幸、沼野 充義 著

KADOKAWA

「ドン・キホーテ」「罪と罰」の大作から、チェーホフやカフカの短篇まで、フィクションを読む技法と愉しみを知りつくした 4 人が徹底解説。放送大学の大人気講義に原典の名訳・新訳を交えて再構成した、海外文学案内の決定版。

2016:8./ 334p

978-4-04-400037-0

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2016/11/06



昭和の歌舞伎名優列伝(淡交新書)

石橋 健一郎 著

淡交社

脈々と続いている歌舞伎の歴史の中で、昭和の歌舞伎とはどのようなものだったのか。十一代目片岡仁左衛門から、六代目中村歌右衛門まで、名優・31 名のすがたを通して、昭和の歌舞伎の魅力に迫る。

2016:9./ 275p

978-4-473-04120-3

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/11/06



夢みる教養～文系女性のための知的生き方史～(河出ブックス 097)

小坪 麻衣子 著

河出書房新社

「教養」という語に折りたたまれた心性の変遷を解きほぐし、前向きに学ぶ女性たちの、実現されない夢の構造を明らかにする。

毎日新聞 2016/11/06

2016:9./ 201p

978-4-309-62497-6

本体 ¥1,500+税



自由の条件～スミス・トクヴィル・福澤諭吉の思想的系譜～(叢書・知を究める 8)

猪木 武徳 著

ミネルヴァ書房

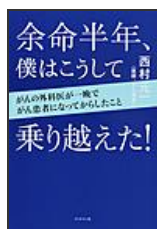
トクヴィルの「アメリカのデモクラシー」を精査していくなかで、アダム・スミス、トクヴィル、福澤諭吉の英仏日の国際的思想伝播の過程を巡り「人間にとっての自由の意味」を今一度問い直す。

毎日新聞 2016/11/06

2016:9./ 7p,351p,8p

978-4-623-07792-2

本体 ¥3,000+税



余命半年、僕はこうして乗り越えた!～がんの外科医が一晩でがん患者になってからしたこと～

西村 元一 著

ブックマン社

無治療なら余命半年-。がん患者となったがん治療医の著者が、がん患者が自分らしく生きられる場所<金沢マギー>を実現。がんになってから夢を叶える生き方を伝える。医師・長尾和宏との対談も収録。

毎日新聞 2016/11/06

2016:9./ 223p

978-4-89308-869-7

本体 ¥1,300+税



モノクロームの国鉄蒸機～形式写真館～(イカロス MOOK)

諸河 久 著

イカロス出版

最後の輝きを放つ国鉄蒸気機関車が精密描写された高画質作品として甦る! 4×5判のモノクロフィルムに記録された貴重な画像を最新のデジタルデータ化技術で精緻にリマスターする。『蒸気機関車 EX』連載等を書籍化。

毎日新聞 2016/11/06

2016:10./ 187p

978-4-8022-0228-2

本体 ¥2,200+税



賞味期限のウソ～食品ロスはなぜ生まれるのか～(幻冬舎新書 い-27-1)

井出 留美 著

幻冬舎

日本はまだ食べられる食品を大量に廃棄する「食品ロス」大国となっている。しかも消費者は知らずに廃棄のコストを負担させられている。食品をめぐる「もったいない」構造に初めてメスを入れた衝撃の書。

毎日新聞 2016/11/06

2016:10./ 220p

978-4-344-98433-2

本体 ¥780+税



浮遊霊ブラジル

津村 記久子 著

文藝春秋

初の海外旅行を前に急逝した私。幽霊となって念願の地をめざすが…。表題作をはじめ、2013 年川端康成文学賞受賞作「給水塔と亀」など、全 7 作を収めた短篇集。『文学界』『新潮』等掲載を単行本化。

毎日新聞 2016/11/06、日本経済新聞 2016/11/27

2016:10./ 180p

978-4-16-390542-6

本体 ¥1,300+税





中原中也全詩集(角川ソフィア文庫)

中原 中也 著

角川学芸出版

歌集『末黒野』、第一詩集『山羊の歌』、没後刊行の第二詩集『在りし日の歌』、生前発表詩篇、草稿・ノート類に残された未発表詩篇をすべて網羅した決定版。巻末に大岡昇平「中原中也伝―揺籃」を収録。

2007:10./ 797p

978-4-04-117104-2

本体 ¥1,360+税



毎日新聞 2016/11/13



父と娘の歲月

寿岳文章、寿岳章子 著

人文書院

0

1988:12./ 240p

978-4-409-16044-2

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/11/13



柳田国男対談集(ちくま学芸文庫)

柳田 国男、宮田 登 著

筑摩書房

民俗学の巨人柳田國男の学問と思想を知る上で貴重な対談集。日本人の神觀念についての折口信夫との興味深い対談など九編を収録。

1992:11./ 400p

978-4-480-08027-1

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/11/13



三酔人経綸問答(岩波文庫 青 110-1)

中江兆民、桑原武夫 著

岩波書店

一度酔えば即ち政治を論じ哲学を論じて止まるところを知らぬ南海先生のもとに、ある日洋学紳士、豪傑君という二人の客が訪れた。民権運動の現実に鍛え抜かれた強靱な思想の所産であり、日本における民主主義の可能性を追求した兆民第一の傑作。

1965:3./ 268p

978-4-00-331101-1

本体 ¥740+税



毎日新聞 2016/11/13



藤田嗣治 妻とみへの手紙 1913-1916<上> 大戦前のパリより

藤田 嗣治 著

人文書院

「お前を今までの十倍も百倍も愛して一生を幸福にくらさしてやる」無名時代の画家・藤田嗣治が、最初の妻とみへ宛てた 179 通の書簡を完全復刻。上は 1913-1914 年の書簡を、専門家の論考、コラムとともに収録。

2016:7./ 299p

978-4-409-10036-3

本体 ¥8,500+税



毎日新聞 2016/11/13



そばと私(文春文庫 き 43-1)

季刊「新そば」編

文藝春秋

50 年以上の歴史を誇る雑誌『新そば』に掲載された「そば随筆」アンソロジー。天皇の料理番から若尾文子、北島三郎、日銀総裁まで。

2016:9./ 314p

978-4-16-790706-8

本体 ¥650+税



毎日新聞 2016/11/13



渡邊洪基～衆智を集むるを第一とす～(ミネルヴァ日本評伝選)

瀧井 一博 著

ミネルヴァ書房

帝国大学の初代総長であり、民権運動に対する弾圧策として悪名高い「集会条例」の起草者、渡邊洪基。日本の近代化を支える「知」のあり方を追求した明治国会の造形者のひとりとして、渡邊洪基に新たな光を当てる。

2016:8./ 20p,338p,11p

978-4-623-07714-4

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2016/11/13



藤田嗣治 妻とみへの手紙 1913-1916<下> 大戦下の欧州より

藤田 嗣治 著

人文書院

「お前を今までの十倍も百倍も愛して一生を幸福にくらさしてやる」無名時代の画家・藤田嗣治が、最初の妻とみへ宛てた 179 通の書簡を完全復刻。下は 1914-1916 年の書簡をコラム、父藤田嗣章の手紙等とともに収録。

2016:8./ 342p

978-4-409-10037-0

本体 ¥8,500+税



毎日新聞 2016/11/13



アメリカ大統領制の現在～権限の弱さをどう乗り越えるか～(NHK ブックス 1241)

待鳥 聡史 著

NHK出版

自由に政策を実現する権限が与えられていないアメリカの大統領。その理由をイギリス植民地以来の歴史と国際比較から解明し、カーター、オバマらを分析して、各大統領がこの困難にどう取り組んできたのかを明らかにする。

2016:9./ 262p

978-4-14-091241-6

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/11/13



こどものみかた春夏秋冬(母の友の本)

柴田 愛子 著

福音館書店

未知のものへの好奇心、友だちとの葛藤、個性の違い…。精一杯生きるこどもたちの心のドラマを、ベテラン保育者が綴ったエッセイ。こどもの味方になるための、こどもの見方のヒントが満載。『母の友』連載をまとめて単行本化。

2016:10./ 189p

978-4-8340-8299-9

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/11/13



温泉文学事典(和泉事典シリーズ 32)

浦西 和彦 著

和泉書院

近代文学において温泉地はどのように描かれているのか。473 名の作家別に、温泉について書かれたエッセイや温泉が出てくる小説など全 853 作品を紹介する。温泉別作家作品名索引(都道府県順)付き。

2016:11./ 5p,589p

978-4-7576-0808-5

本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2016/11/13



コンテキスト・オブ・ザ・デッド

羽田 圭介 著

講談社

編集者の須賀は作家と渋谷で打ち合わせ中、スクランブル交差点で女の子を襲うゾンビを目撃する。各地で変質暴動者=ゾンビの出現が相次ぐ中、火葬されたはずの文豪たちまで甦り始め…。『群像』連載を書籍化。

2016:11./ 417p

978-4-06-220334-0

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/11/13



アメリカを見れば世界がわかる

池上 彰 著

PHP研究所

大統領選挙、日米関係、移民、銃問題などアメリカを現地取材。大統領選挙で、日本はどう変わる？ アメリカを知れば世界が見えてくる！

毎日新聞 2016/11/13

2016:10./ 247p

978-4-569-83133-6

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 5 6 9 8 3 1 3 3 6 *



緋の舟〜往復書簡〜

志村 ふくみ、若松 英輔 著

求龍堂

相呼応するものがなくて、どうして熱く筆をとることが出来ましょうー。染織作家・随筆家の志村ふくみと、批評家・随筆家の若松英輔の魂の交感。『すばる』連載を書籍化。

毎日新聞 2016/11/13

2016:10./ 279p

978-4-7630-1628-7

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 7 6 3 0 1 6 2 8 7 *



いつか見た映画館(全2巻)

大林 宣彦 著

七つ森書館

映画は時代を映す鏡。サイレントから西部劇、戦争映画、コメディまで、121 の作品の背景や製作秘話などを、大林宣彦監督が語り尽くす。CS チャンネル「衛星劇場」の映画番組「大林宣彦のいつか見た映画館」を書籍化。

毎日新聞 2016/11/13

2016:10./ 1,368p

978-4-8228-3030-4

本体 ¥18,000+税



* 9 7 8 4 8 2 2 8 3 0 3 0 4 *



散歩のとき何か食べたくなって 改版(新潮文庫)

池波 正太郎 著

新潮社

洋食、鮎、蕎麦、どぜう鍋、馬刺から菓子にいたるまで、折々に見つけた店の味を書き留めた食味エッセイ。

毎日新聞 2016/11/20

2003:4./ 240p

978-4-10-115610-1

本体 ¥590+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 5 6 1 0 1 *



植物はそこまで知っている〜感覚に満ちた世界に生きる植物たち〜

ダニエル・チャモヴィッツ 著

河出書房新社

植物は世界をどう感じているのか。視覚、嗅覚、触覚、聴覚、位置感覚、記憶。最新の科学的発見で解き明かされる植物の内的な世界！

毎日新聞 2016/11/20

2013:4./ 187p

978-4-309-25280-3

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 5 2 8 0 3 *



植物が出現し、気候を変えた

デイヴィッド・ビアリング 著

みすず書房

植物の進化と繁栄は、かつて想像されていた以上にダイナミックに、地球の景観や気候をつくりかえていた！ 陸上植物の出現にはじまる“緑の地球”の 5 億年の変遷を、最新の科学的知見をつぶさに参照しながら描きだす。

毎日新聞 2016/11/20

2015:1./ 6p,297p,71p

978-4-622-07872-2

本体 ¥3,400+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 7 8 7 2 2 *



カラー版新大陸が生んだ食物～トウモロコシ・ジャガイモ・トウガラシ～(中公新書 2316)

高野 潤 著

中央公論新社

トウモロコシ、ジャガイモ、トウガラシのふるさと、中南米では、味も形も色もユニークで、バラエティーに富む原産種が栽培され、加工や調理にも工夫が凝らされている。多彩な食物と人間の関係を、カラー写真と文章でたどる。

2015:4./ 2p,182p

978-4-12-102316-2

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 3 1 6 2 *

毎日新聞 2016/11/20



少年少女のための文学全集があったころ

松村 由利子 著

人文書院

メロンを食べるとき、必ず思い出すルナールの「にんじん」。“薄謝”という言葉を知ったミルンの「クマのプーさん」…。元新聞記者の著者が、子どものころに読んだ本について綴った、児童文学への愛にあふれる書。

2016:7./ 191p

978-4-409-16098-5

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 4 0 9 1 6 0 9 8 5 *

毎日新聞 2016/11/20



ドキュメント北方領土問題の内幕～クレムリン・東京・ワシントン～(筑摩選書 0135)

若宮 啓文 著

筑摩書房

外交は武器なき戦いである。米ソの暗闘と国内での権力闘争を背景に、日本の国連加盟と抑留者の帰国を実現した日ソ交渉の全貌を新資料を元に描く。解説_駒木一義

2016:8./ 396p

978-4-480-01640-9

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 6 4 0 9 *

毎日新聞 2016/11/20



オライオン飛行

高樹 のぶ子 著

講談社

第二次大戦前夜、日本に墜落したフランス人飛行士と出会った看護婦・久美子。生涯で一度きりの命がけの恋。それは美しい悲恋か、陰謀の罠か? 史実を基に大胆に描く、時空を超えた恋のミステリー。『群像』連載を単行本化。

2016:9./ 286p

978-4-06-220244-2

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 2 4 4 2 *

毎日新聞 2016/11/20



アメリカ異形の制度空間(講談社選書メチエ 634)

西谷 修 著

講談社

所有権を基盤とする「自由」の理念によって制度化されていったアメリカ。20世紀に一気に「世界」へと浸透したその規範性の特徴とは

2016:10./ 269p

978-4-06-258637-5

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 3 7 5 *

毎日新聞 2016/11/20



異境の文学～小説の舞台を歩く～

金子 遊 著

アーツアンドクラフツ

荷風・周作のリヨン、中島敦のパラオ、江藤淳のアメリカ、山川方夫の二宮、川崎長太郎の小田原、藤枝静男の天竜川・大井川。文学作品をフィールドワーカーとしての民俗学的な目線で見つめた評論集。

2016:9./ 206p

978-4-908028-15-1

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 9 0 8 0 2 8 1 5 1 *

毎日新聞 2016/11/20



日本美術応援団～今度は日本美術全集だ!～(小学館セレクトムック)

山下 裕二、井浦 新 著

小学館

「日本美術全集」全 20 巻のおよそ 3500 点の作品の中から、各巻各時代の代表作を選び、豊富なカラー図版で収録。日本美術の 3 万年の歴史を辿る。俳優・井浦新×美術史家・山下裕二の対談も掲載。

2016:11./ 111p

978-4-09-103782-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/11/20



リスク・コミュニケーションの思想と技術～共考と信頼の技法～

木下 富雄 著

ナカニシヤ出版

コミュニケーション技術だけではなく、その背景の思想や価値観、実際の設計、効果と評価、コミュニケーター養成などを深く展開。

2016:9./ 5p,242p

978-4-7795-1101-1

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2016/11/20



HERE

リチャード・マグワイア 著

国書刊行会

窓と作りつけの暖炉のほかには何もない部屋で、アメリカのある家族の歴史と、紀元前 30 億 50 万年から 22175 年にいたる壮大な地球の歴史が描かれていく。1989 年のオリジナル版などを掲載した冊子付き。

2016:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-336-06073-0

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2016/11/20



乳がんと生きる～ステージ4 記者の「現場」～

毎日新聞生活報道部 著

毎日新聞出版

病院選び、治療法の見極め方、医師との付き合い方…。乳がんサバイバーを中心とした記者たちが真摯に迫った現場からの報告。知っておきたい「乳がん」の基礎知識も掲載。『毎日新聞』朝刊「くらしナビ」面の連載を基に書籍化。

2016:10./ 221p

978-4-620-32414-2

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/11/20



次の時代を、先に生きる。～まだ成長しなければ、ダメだと思っている君へ～

高坂 勝 著

ワニブックス

もうやめよう。がんばるのをやめて幸せを目指そう。今までの生き方を「Re Life」し、働き方を「Re Work」して、人生を「Re Design」する時が来ている。自分を取り戻す「Re:」の思想について語る。

2016:11./ 383p

978-4-8470-9516-0

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/11/20



ハッカの薫る丘で(中公文庫 も 34-1)

森 久美子 著

中央公論新社

1964 年の東京オリンピックに未来を夢見つつ、北の大地で学んだ中学生たち。卒業以来 50 年ぶりに開催される同窓会から、再び人生が動き始める。『日本農業新聞』連載を改題、改稿して文庫化。

2016:11./ 378p

978-4-12-206314-3

本体 ¥680+税



毎日新聞 2016/11/20



プーチンの国家戦略～岐路に立つ「強国」ロシア～

小泉 悠 著
東京堂出版

北方領土、シリア問題、ロシアにおけるイスラム問題、宇宙戦略…。ロシアの最新事情に通曉した著者が、プーチン大統領を縦軸、軍事を横軸としてさまざまなテーマを盛り込み、多角的な視点から現代ロシアの国家像を描き出す。

2016:10./ 335p
978-4-490-20950-1
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/11/20、日本経済新聞 2016/11/27



ホントは知らない日本料理の常識・非常識～マナー、器、サービス、経営、周辺文化のこと、etc.～

村田 吉弘 著
柴田書店

「料理」だけではあかん!格好よく見える料理屋でのマナー、日本料理店の接客、関西と関東の違い、いまどきの料理屋裏事情…。京都を代表する老舗料亭の 3 代目主人が、「日本料理の常識」を本音で語る。

2007:7./ 231p
978-4-388-35323-1
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/11/27



茶の本～英文収録～(講談社学術文庫)

岡倉天心 著
講談社

明治 39 年、天心は西洋文明に対する警鐘をこめて、茶の文化への想い即ち東西の文明観を超えた日本茶道の真髄を切々と綴った。精魂をこめた訳文により天心の精神がいま静かに息づく。原典英文収録の名著復刻の決定版!

1994:8./ 224p
978-4-06-159138-7
本体 ¥840+税



毎日新聞 2016/11/27



昆布と日本人(日経プレミアシリーズ 177)

奥井 隆 著
日本経済新聞出版社

知っているようで意外に知らない、母なる海産物「昆布」の魅力・秘密の数々。創業 140 年を誇る昆布商の主人が、歴史から、うま味の本質、おいしい食べ方で、昆布の興味深い話をていねいに伝える。

2012:12./ 208p
978-4-532-26177-1
本体 ¥850+税



毎日新聞 2016/11/27



10品でわかる日本料理

高橋 拓児 著
日本経済新聞出版社

御椀のだしは「引く」もの、煮物のだしは「取る」もの。京料理界若手の第一人者が、日本料理の根幹をなす 10 種類の料理の基本的な考え方と楽しみ方を指南。いつもの御飯がもっと美味しく味わえる、知っておきたい和食入門。

2013:10./ 247p
978-4-532-16878-0
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/11/27



戦後日本首相の外交思想～吉田茂から小泉純一郎まで～

増田 弘 著
ミネルヴァ書房

戦後日本の首相たちが、どのような外交思想に基づいて外交を進めていったかについて検討する研究書。吉田茂から小泉純一郎まで、主要な首相 17 名を取り上げ、時代に応じて変わる外交課題と思想の関係を描き出す。

2016:9./ 9p,460p,11p
978-4-623-07506-5
本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2016/11/27



神話で読みとく古代日本～古事記・日本書紀・風土記～(ちくま新書 1192)

松本 直樹 著

筑摩書房

古事記、日本書紀、風土記という〈神話〉を丁寧に読みとくと、古代日本の国家の実像が見えてくる。精神史上の「日本」誕生を解明する、知的興奮に満ちた一冊。

毎日新聞 2016/11/27

2016:6./ 285p

978-4-480-06895-8

本体 ¥880+税



伊勢と出雲～韓神と鉄～(平凡社新書 821)

岡谷 公二 著

平凡社

日本原初の記憶が刻まれた地でありながら、それぞれ別物とされてきた伊勢と出雲を、古代朝鮮の文化と鉄をキーワードにつなぎ直す。

毎日新聞 2016/11/27

2016:8./ 207p

978-4-582-85821-1

本体 ¥780+税



ピーターラビットのすべて～ビアトリクス・ポターと英国を旅する～

小学館

「ピーターラビット」をはじめ、作者ビアトリクス・ポターが描いた 24 の作品の舞台を、彼女のスケッチや水彩画、イギリス各地の美しいカラー写真とともに紹介します。ビアトリクスの生涯にも迫ります。

毎日新聞 2016/11/27

2016:9./ 119p

978-4-09-388507-2

本体 ¥1,600+税



読書と日本人(岩波新書 新赤版 1626)

津野 海太郎 著

岩波書店

「読書」という行為はいつ頃生まれたのだろうか? これからも人は本を読み続けるのだろうか? 書き手・読み手・編集者として<読書の黄金時代>を駆け抜けてきた著者が、読書の過去・現在・未来を読みとく。

毎日新聞 2016/11/27

2016:10./ 4p,272p,5p

978-4-00-431626-8

本体 ¥860+税



創価学会・公明党の研究～自公連立政権の内在論理～

中野 潤 著

岩波書店

次々と重要法案を可決し、盤石と見える自公連立政権。しかしその水面下には、創価学会と政界との攻防があった。創価学会および公明党の政治との関わりについて分析し、その内幕を明らかにする。

毎日新聞 2016/11/27

2016:10./ 7p,293p,3p

978-4-00-023734-5

本体 ¥1,800+税



正倉院宝物～181点鑑賞ガイド～(とんぼの本)

杉本 一樹 著

新潮社

正倉院の「宝物全員と対面」した著者による鑑賞ガイド。9000点の中から、聖武天皇遺愛の生活道具、楽器、染織品などアイテムごとに 181 点を厳選し、見どころや背景の物語もわかりやすく紹介する。

毎日新聞 2016/11/27

2016:10./ 159p

978-4-10-602272-2

本体 ¥2,000+税





文明開化がやって来た～チョビ助とめぐる明治新聞挿絵～

林 丈二 著

柏書房

明治時代の新聞挿絵という時代投影器を駆使して、日本人の基ともいべき人たちの姿と生活を紹介。維新後、日本人の生活に入ってきた「西洋」を自然に、あるいは不自然に取り込んできた様子がわかる。

2016:10./ 243p,4p

978-4-7601-4740-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/11/27



果報者ササル～ある田舎医者のお話～

ジョン・バージャー、ジャン・モア、村松 潔 著

みすず書房

ブッカー賞作家ジョン・バージャーと写真家ジャン・モアが、一人の田舎医者のお姿を通して人間と医療の本質を浮彫にした傑作ドキュメント。1967 年刊のロングセラーに 2015 年版解説を加筆して初邦訳。

2016:11./ 211p

978-4-622-08552-2

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2016/11/27



はじめてのエシカル～人、自然、未来にやさしい暮らしかた～

末吉 里花 著

山川出版社

エシカルとはエコやフェアトレード、オーガニックなどを含み持つアイデア。身近から始めるエシカルライフのコツを伝えます。

2016:11./ 190p

978-4-634-15107-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/11/27